

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

1 平成30年度事業計画重点項目に関する総括

（１）第４次地域福祉活動計画及び第３次福祉教育推進計画に基づく事業の実施

- 第４次地域福祉活動計画（平成27年度～令和6年度）及び第３次福祉教育推進計画（平成29年度～令和3年度）それぞれに定めた平成30年度事業の遂行に努めるとともに、時代の変化に伴う新たな行政施策の動きにも対応し、社協の特性を生かした取り組みを進めました。

（２）社会福祉法人による公益的な取り組みの推進

- 国が進める「我が事・丸ごとの地域共生社会づくり」において、社会福祉法人による地域課題に対する「公益的な取り組み」が求められているため、事前の準備会を重ね、市内25の社会福祉法人が連携・協働する場となる「宗像市社会福祉法人連絡会」を平成30年11月に立ち上げ、本会はその事務局を担うこととしました。

（３）地域の福祉課題を解決するための「ともにいきるまち宗像」推進事業の充実

- これからの高齢者福祉の基本となる「地域包括ケアシステムの構築」が進められている中、本会は、①福祉会や民生委員児童委員、シニアクラブ等と連携とした「見守り体制づくり～支え合いマップづくり」や、②「いきいきふれあいサロン」による介護予防事業、③認知症施策推進事業の受託事業である「認知症サポーター養成講座」や「オレンジカフェ」の開催等を推進してきました。
そしてさらに市と協議を重ね、④在宅生活を支えるための支援体制づくりを、地域課題に関わる多様な主体（地域資源）を繋いで推進する「生活支援体制整備事業」を受託することとしました。
- 子どもから大人・高齢者まで、障がいや認知症等があっても、排除や孤立することなく、理解と支え合いが得られる地域づくりを目指して、福祉教育や啓発事業を多様な形で展開しました。

（４）高齢者や障がいがある人への権利擁護事業の充実～法人後見業務への体制整備

- 本会が契約主体であるライフサポート事業と県社協が契約主体である日常生活自立支援事業、どちらも自立した日常生活を支える重要な権利擁護事業と位置付けられ、関係機関からの相談や照会も増え、平成30年度には利用者が急増しました。
- 障がい者等の権利擁護支援の充実を図るため、本会が法人として後見人業務を担う「法人後見」業務の体制整備を行いました。これにより、ライフサポート事業の利用者で成年後見制度の利用要件を満たし、本人が希望する場合は、引き続き本会が権利擁護支援を行うことができるようになりました。

（５）障害者生活支援センターならびに障害者虐待防止センター事業の充実

- 基幹型相談支援センターとして、中立・公平な相談支援事業を実施するとともに、市における相談支援の中核的な役割を担い、相談支援事業所へのサービス支援計画作成の指導に努めました。
- 関係機関や地域との連携を強化し、地域課題の解決を図るため、市と協働して障害者自立支援協議会の運営に努めました。
- 障害者虐待防止センターの機能や役割、虐待防止への取り組みについて事業所や関係機関、市民への周知に努めました。通報があった虐待ケースについても関係機関と連携し対応しました。

（６）宗像市ボランティアセンター事業の充実

- ボランティアセンター事業では、市から受託している「V-net」関連事業のひとつであるボランティアセンターのホームページを一新し、さらに身近で充実したボランティア活動が市内で展開されるように努めました。また、引き続き子育て支援、歴史、まちづくり等福祉分野以外のボランティア及びボランティア団体との連携強化にも努めました。
- 学校における福祉教育、そして新たに認知症関連事業にて、テーマ型ボランティア及びボランティア団体との協力、連携が求められています。様々な地域福祉課題に対応できるように、ボランティア・市民活動団体等の多種多様な社会資源による重層的な支援体制づくりに努めました。

（７）宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の運営

- 円滑な事業運営のための取り組み
今後の児童発達支援事業における今後の動向について情報を集めるとともに、本園事業の在り方について、発達支援室と協議を行いました。
- 発達支援センターとの業務連携の強化
相談事業と療育支援事業がスムーズに行えるように、発達支援室との会議や随時の情報交換に努めました。
- 療育等の質向上への取り組み
各研修会への参加やスタッフ会議の中で、療育支援の向上に努めました。
- 職員の質向上のための取り組み
防犯対策や防災対策について職員研修を行いました。特に、防犯対策については、宗像警察署防犯係に依頼し、実際の動きを確認する上で実地訓練にて研修会を行った。また、宗像消防本部にて、救急救命についての研修会も実施しました。
- 円滑な相談支援事業への取り組み
適切なサービス等利用計画書作成や今後の就学での支援のために、療育スタッフと保護者とのコミュニケーションを図りながら、計画書作成に取り組みました。
また、発達支援室や、福祉課とも情報共有を図りながら、サービス等利用計画書作成手続きに関する確認を行い、相談支援業務に取り組みました。

（８）高齢者や障がい者への介護サービス事業経営の安定化と、利用者へのサービスの充実

- 平成 30 年度は、国が目指す地域共生社会の実現に向けて、介護保険法や障害者総合支援法などの改正が行われ、介護報酬や診療報酬の改定とともに、「地域包括ケアシステム」の実現に向けた具体的な事業展開と「共生型サービス（障害・老人）」の実現に向けた先駆的事业が実施されます。本会も、この改革への対処を検討しました。
- 平成 27 年度の介護保険制度改正以来、報酬単価の減額と介護予防の訪問介護利用者の減少などで、訪問介護事業と介護予防事業を中心に経営収支の悪化のため、平成 29 年度ホームヘルプステーション経営改善計画を策定し経営改善に努めてきましたが、30 年度は特定事業所加算（障害福祉）の取得と職員配置の適正化を検討するなどして、更なる経営改善に努めました。
- 介護保険法や障害者総合支援法などにおける関連事業の展開については、本会の第 4 次活動計画に基づき検討し、具体的に行うとともに、市の委託事業である要介護認定調査事業では、信頼のある調査ができるように努めました。また、いきがい活動支援通所事業（市委託）は、快適で安心な施設環境のもとで大島地区の高齢者健康増進に努め、職員のスキルアップや処遇改善及び必要に応じた職員体制の整備をはかりました。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

■理事会の開催 3回開催 22議案

開催時期・会場	議案番号	議 案	議決（承認） 月日
第1回 ■6月7日 ■メイトム宗像 201会議室	第1号	定款施行細則の一部改正について	6月7日
	第2号	評議員候補者の推薦について	
	第3号	平成29年度事業報告について	
	第4号	平成29年度決算報告ならびに監査報告について	
	第5号	平成30年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について	
第2回 ■7月25日 ■メイトム宗像 結工房	第6号	会長の選任について	7月25日
第3回 ■3月19日 ■メイトム宗像 204会議室	第7号	会長の選任について	3月19日
	第8号	専決処分の承認について（平成30年12月25日 職員給与規程の一部改正）	
	第9号	職員就業規則の一部改正について	
	第10号	職員の再任用に関する規程の廃止について	
	第11号	嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について	
	第12号	臨時職員の雇用等に関する就業規則の制定について	
	第13号	臨時ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について	
	第14号	非常勤ホームヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について	
	第15号	嘱託職員の給与に関する規程の一部改正について	
	第16号	臨時職員の賃金に関する規程の一部改正について	
	第17号	宗像市障害児通園事業所指定児童発達支援事業運営規程の一部改正について	
	第18号	経理規程の一部改正について	
	第19号	会長の報酬等に関する臨時特例規程の制定について	
	第20号	平成31年度事業計画（案）について	
	第21号	平成31年度予算（案）について	
	第22号	平成30年度第3回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について	

■評議員会の開催 3回開催 7議案

開催時期・会場	議案番号	議 案	議決（承認） 月日
第1回	第1号	理事の選任について	6月29日

■6月29日 ■メイトム宗像 202会議室	第2号	平成29年度事業報告について	
	第3号	平成29年度決算報告並びに監査報告について	
第2回 ■7月25日 ■メイトム宗像 202会議室	第4号	理事の選任について	7月25日
第3回 ■3月28日 ■メイトム宗像 202会議室	第5号	会長の報酬等に関する臨時特例規程の制定について	3月28日
	第6号	平成31年度事業計画（案）について	
	第7号	平成31年度予算（案）について	

（2）定款・諸規程の整備

種別	議案	議決（承認） 月日
■定款等	・定款施行細則の一部改正	6月7日
■諸規程	・職員就業規則の一部改正 ・職員の再任用に関する規程の廃止 ・嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正 ・臨時職員の雇用等に関する就業規則の制定 ・臨時ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正 ・非常勤ホームヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正 ・嘱託職員の給与に関する規程の一部改正 ・臨時職員の賃金に関する規程の一部改正 ・宗像市障害児通園事業所指定児童発達支援事業運営規程の一部改正 ・経理規程の一部改正 ・会長の報酬等に関する臨時特例規程の制定	3月19日

（3）経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：会長・常務理事・事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長
- 開催時期：毎月最終火曜日

（4）計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として必要な安全運転や人権等の研修を行っている。

実施事業	実施時期	主な活動内容
安全運転管理者講習会	■6月21日 ■宗像ユリックス	対象者：福祉企画課長・居宅介護課長 出席者数：2人 内容：道路交通法に定められた正副安全運転管理者の講習会。
職員安全運転研修会	■2月13日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上 出席者数：約30人 講師：リスクサーチ福岡代表 後藤弥太郎さん 内容：交通事故のデータに基づき、事故が起きやすい状況の把握「かもしれない運転」等について

職員人権研修会	■ 1 月 15 日 ■ メイトム宗像 202 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。 出席者数：約 30 人 演 題：「HIV 感染症患者の最新情報」 「HIV 感染症患者の地域連携について」 講 師：国立病院機構九州医療センター 山本政弘部長、首藤美奈子 SW
---------	--	--

(5) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年 3 回定期的に監査員による会計等の監査を実施。監査の結果については、年度の第 1 回理事会・評議員会にて結果を公表している。

(6) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的に方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長・衛生管理者・部門別代表等計 10 人
- 開催時期：偶数月第 2 金曜日

3 “ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実

(1) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織。また、自治会単位（小地域）の福祉会を「小地域福祉会」、地区単位の福祉会を「地区福祉会」と称している。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書（昭和 61 年 1 策定）にて、“活動のための組織体制強化策”として採用した事業。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、翌昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会（現：自由ヶ丘地区福祉会）」が発足した。その後、各地に福祉会を組織化。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化された。

平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度再開した。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区（市内 12 地区）全域に地区福祉会が組織化された。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会（現：大島地区福祉会）が宗像市 13 番目の地区福祉会となった。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	楽しく食べて語るバスハイク、介護予防いきいき交流会事業/すみれサロン（9 回）、孝行ネットの推進、先進地視察研

		修、ボランティア育成、世代間交流事業、福祉の郷づくり会への協力
赤間地区	【赤間地区福祉会】	小地域福祉会情報交換会(12 回)、先進地視察研修、地域福祉会新春交流会(高齢者閉じこもり予防事業)、赤馬ほっとラインネットワーク活動更新
	赤間区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(11 回)、福祉会花壇作業、1 日バスハイク、福祉研修会
	石丸区福祉会	一人暮らし高齢者見守り活動(月 1 回)、世代間交流事業(芋掘り大会、どんど焼き)、ニュースポーツと食事会、介護予防いきいき交流会事業(2 回)、脳トレワークショップ
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(バスハイク、和白病院出前講座など 6 回)、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、集会所花壇植付け
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(4 回)
	陵巖寺区福祉会	ふれあい会食会サロン(二葉会/9 回)、1 日バスハイク、高齢者料理教室、友愛見守り活動(随時)、世代間交流事業(ニュースポーツ大会、昔遊び伝承、餅つき大会)、広報誌「きぬがさ」発行(年 6 回)
	三郎丸団地区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(3 回)、声かけ・安全確認、健康測定会支援、敬老の日記念品贈呈
	広陵台 1 丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(15 回)、子ども登下校見守り事業、ラジオ体操・朝カフェ、イキイキ散歩(毎水曜)、道路クリーン事業
	葉山区福祉会	ふれあい昼食会(お花見、あじさい祭り、お雛祭りなど 4 回)、介護予防いきいき交流会事業(新規:ビリヤードミニサロン、男性料理教室ミニサロン、ダーツ競技大会等、計 10 回)、福祉ボランティア研修会(春季・秋季)、世代間交流事業(イモ苗植え、芋掘りぜんざい会、葉山まつり出店)、三社参りバスハイク、餅つき大会、赤馬ほっとライン登録の促進、分別収集・廃品回収のお手伝い
	名残区福祉会	敬老祝賀会、福祉委員会
赤間西地区	富地原区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(5 回)、環境保全活動(清掃)(17 回)、世代間交流事業(餅つき大会、どんど焼き)、健康測定会への協力、広報活動・年 2 回発行(6・3 月)、赤馬ほっとライン見守り活動
	【赤間西地区福祉会】	見守りネットワーク活動の推進、地域ボランティア登録事業の推進、介護予防いきいき交流会事業、赤間西小 6 年福祉教育への協力、福祉会だよりの発行、ステップアップ研修、世代間交流、先進地視察研修、(株)ゆり庵利用者の避難訓練協力支援
	土穴区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、福祉員による見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(11 回)、乙女の会(女性独居高齢者の会)・金太郎会(男性独居高齢者の会)の開催

	城ヶ谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(あすなろ会/10回)、ふれあいラジオ体操、独居高齢者との懇談会、城ヶ谷見守りネットワーク、刃物研ぎ、恵愛保育園園児と高齢者とのふれあい活動、福祉だより発行
	赤間ヶ丘1区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、福祉会だより発行
	赤間ヶ丘2区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(8回)、バスハイク、敬老祝賀会、広報「ふれ愛」の発行、見守り助け合い「向こう三軒両隣安心運動」パトフラッシュによる緊急時の自発的警報発信の取組
	三郎丸区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、世代間交流事業(千燈明祭支援)、刃物研ぎ、高齢者への見守り声かけ活動、広報活動、登校時の声かけ
	城山区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(11回)、ラジオ体操、子ども見守り活動、刃物研ぎ
	大谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業(6回)、高齢者の見守り(災害時要援護者支援)、大谷縁側カフェ実行委員会会議
	泉ヶ丘1丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、敬老祝賀会、わんわんパトロールの実施、刃物研ぎ、ボランティアだよりの発行
	泉ヶ丘2丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(5回)、どんど焼き、七夕会、敬老祝賀会、世代間交流事業、泉ヶ丘2丁目にここカフェ(平成30年12月より開始/2ヵ月に1回開催)
	アーサー赤間駅前福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(3回)、七夕会、敬老祝賀会、クリスマス会
	アンピール赤間駅前福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(2回)、七夕会、敬老祝賀会
自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(9ヶ所/48回)、いきいきふれあいサロン代表者会議の開催、小地域福祉会の組織化の推進、福祉だより「ほほえみあい」、ミニ広報「お元気ですか」の発行、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6~12回開催)、民生委員との懇談会、福祉委員連絡会、福祉委員研修会、小地域福祉会組織化の推進、小地域化された福祉会【第2区会・南第2区会】
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、ボランティア研修、視察研修、役員会
	須恵区福祉会	高齢者バスハイク、見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(4回)、敬老祝賀会
	稲元区福祉会	世代間交流会、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(4回)

	福崎区福祉会	三世代交流会、介護予防いきいき交流会事業(2回)
	ひかりヶ丘福祉会	世代間交流事業、フリーサロン、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(8回)、見守り訪問活動、たんぽぽの会活動、声かけ安全パトロール、福祉だよりの発行、新春のつどい
	城西ヶ丘区福祉会	おしゃべりサロン、ふれあいバスハイク、夏祭り、視察研修、介護予防いきいき交流会事業(4回)、城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛への協力
	天平台区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(2回)、福祉講演会、認知症サポーター養成講座、役員研修、おしゃべりカフェ(月1回)、バスハイク
	樟陽台区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(4回)、世代間交流、環境美化事業、認知症サポーター養成講座
南郷地区	【南郷地区福祉会】	福祉協力員研修、バスハイク(2回)、楽しく食べて語ろう会【楽食会、世代間交流】(2回)、先進地視察研修、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業(11か所/52回)、ふれあい見守り活動、どんど焼き、わくわく交流会、敬老の日の宛名書き、愛の年賀状宛名書き
東郷地区	【東郷地区福祉会】	医療講演会、福祉委員研修及び会議、赤い羽根ふくし事業、民生委員児童委員との意見交換会、高齢者バスハイク、理事及び福祉委員合同視察研修、介護予防いきいき交流会事業(10か所/56回)
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議(年6回)、主任福祉員会議(年6回)、町内会長(福祉会長)と主任福祉員との意見交換会、民生委員と主任福祉員との情報交換会、福祉員のための福祉講座、ふれあい昼食会、おもちゃ病院、視察研修、シルバー農園、福祉員の集い、介護予防いきいき交流会事業、「日の里の福祉計画」の周知・推進、各町内会福祉会による活動
神湊地区	【神湊地区福祉会】	65歳以上一人暮らしバスハイク(春)、ふれあいお楽しみバスハイク(秋)、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(3か所/22回)、理事・福祉協力員研修会(認知症予防講座)、新役員研修、どんど焼き
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業(5か所/21回)、【田野区サロン(2回)、玄海ニュータウンサロン(1回)、桜町サロン(1回)、公園通りサロン(2回)、やまびこサロン(11回)池野地区サロン(5回)、七夕会、秋ふれあい、クリスマス会、ひなまつり、新春会】ひとり暮らし高齢者バスハイク、アオキ会ボランティア研修、小地域見守りネットワーク活動、学童との交流・見守り活動
岬地区	【岬地区福祉会】	ふれあいバスハイク、ひとり暮らし高齢者訪問(日常生活支援プレゼント配布)、介護予防いきいき交流会事業(2か所/2回)、ふれあいクリスマス会、福祉協力員研修、施設研修、岬地区寄席、ロイヤルホテル宗像観劇ハイク
田島地区	【田島地区福祉会】	65歳以上一人暮らしバスハイク(春)、ふれあいお楽しみバスハイク(秋)、70歳以上一人暮らし見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会(2か所、計13回)、委員研修会(認知症予防講座)、新役員研修

大島地区	【大島地区福祉会】	各区おしゃべり会サロン（12回）、初盆参り（5人）、各区対抗スポーツ大会（5月・9月・11月）、敬老会、新成人式を祝う会、山笠・盆踊り・健康福祉ミニまつり支援
------	-----------	---

②地域ネットワーク活動の充実（各福祉会の取り組み参照）

- 事業説明：小地域ネットワーク活動とは、民生委員児童委員と福祉会の地域ケア型ボランティア、シニアクラブや地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う活動。

（２）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

①介護予防いきいき交流会事業

- 事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「いきいきふれあいサロン活動」を活用し、さらに介護予防の内容を充実させた事業を行っている。なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「おおしまDEいきいき元気教室」も含まれる。
- 事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。
- 運営体制：市から本会への委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、協力、調整などを行っている。

地区ごとの実施状況	開催箇所 (単位：ヶ所)	開催回数 (単位：回)	栄養指導 (単位：回)	口腔ケア (単位：回)	運動指導 (単位：回)
吉 武 地 区	8	9	0	0	2
赤 間 地 区	9	76	8	3	13
赤 間 西 地 区	11	70	5	2	10
自由ヶ丘地区	9	51	1	0	4
日 の 里 地 区	12	56	0	1	3
南 郷 地 区	11	56	10	2	13
河 東 地 区	7	30	5	1	5
東 郷 地 区	10	61	5	1	13
池 野 地 区	4	20	9	1	3
田 島 地 区	2	13	0	1	0
神 湊 地 区	3	22	2	3	3
岬 地 区	2	2	0	0	0
大 島 地 区	4	12	0	0	0
合 計	92	478	45	15	69

- 事業実績：●延べ参加者数：9,194人（65歳以上）・1,099人（64歳以下）
●延べ従事者数：4,629人
●合 計：14,922人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

■事業説明:いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に研修会を開催。

■実施期日:平成30年6月22日(金)13:30~15:30

■実施場所:メイトム宗像 多目的ホール

■内 容:事例発表、運動実践の2部構成で研修会を実施。

◇事例発表「サロンの中でオレンジカフェをやってみました!!」

発表者 宗像市社会福祉協議会 認知症地域支援推進員

後藤真保

自由ヶ丘第3区会サロン 志賀洋一氏、中西千恵子氏

◇運動実践 「健康寿命を延ばすには?」

講師 福岡県介護予防支援センター 理学療法士 高橋博愛氏

参加者数	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	191人	171人	208人

③地島ミニデイサービス事業の適切な運営

■事業説明:離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回健康チェックを実施している。

■実施場所:地島白浜公民館および泊公民館

実施時期	参加者数	主な活動内容
5月30日	5人	体力測定、講話・貯筋体操「筋肉を刺激して健康寿命を延ばそう」(よつづか)
6月21日	6人	体力測定、講話・貯筋体操「筋肉を刺激して健康寿命を延ばそう」(よつづか)
7月30日	5人	健康講話「熱中症を予防しよう」、貯筋体操、スクエアステップ(よつづか)
9月26日	6人	健康講話「認知症と老化によるもの忘れの違い、予防について」、貯金体操(よつづか)、玄海包括紹介、認知症ケアパス説明(高齢者支援課、玄海包括)
10月30日	6人	健康講話「口腔ケアについて」、嚥下体操、足腰の筋トレ、スクエアステップ(よつづか)
11月22日	8人	健康講話「認知症について」、嚥下体操・唾液腺マッサージ、足腰の筋トレ、スクエアステップ(よつづか)
1月31日	4人	ケアビクス(ケアビクスインストラクター)

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

■事業説明:離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。

■実施場所:大島ふれあいセンター、大島地区コミュニティセンター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月19日	17人	体力測定(今年度から歩行能力測定を導入)、レクリエーション(数字数えて3倍数時アクションゲーム)、悠々体操
6月21日	17人	体組成計測定、上下肢リハビリ体操、レクリエーション(連想ゲーム、お手玉崩し)悠々体操
6月27日	22人	手指体操、足腰の筋トレ、スクエアステップ(よつづか)
8月29日	25人	健康講話「ロコモティブシンドローム」、準備体操・スクワット・片足立ち、「ス

		クエアステップ」、みんなで合唱「これから音頭」(よつか)
9月20日	22人	体力測定、レクリエーション(しりとり、手拍子・足踏みゲーム)、悠々体操
10月25日	22人	健康講話「低栄養にならないために」、筋肉ほぐし体操、脳トレ、足腰筋トレ、スクエアステップ、みんなで合唱「これから音頭」(よつか)
11月15日	16人	体組成計測定、レクリエーション(童謡の曲当てゲーム、お手玉投げ)、悠々体操
12月20日	22人	健康講話「高齢者の皮膚のケア」、筋肉ほぐし体操、脳トレ、足腰筋トレ、スクエアステップ、みんなで合唱「これから音頭」(よつか)
1月17日	18人	体力測定、レクリエーション(お手玉投げ)、悠々体操
2月28日	20人	口腔ケア、嚥下体操、かっばのうた合唱、スクエアステップ、みんなで合唱「これから音頭」(よつか)
3月14日	14人	体組成計測定、レクリエーション(リハビリ体操、パターゴルフ)、皆勤者表彰式、悠々体操
3月28日	19人	下半身の筋肉トレーニング、スクエアステップ、みんなで合唱「これから音頭」(よつか)

(3) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

- 事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年設置。各地区福祉会の会長、事務局長等、代表2名で構成している。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会(総会)	5月22日	①平成29年度事業報告・決算報告及び監査報告について ②役員の選任について ③平成30年度事業計画・予算について
先進地視察研修	9月12日～13日	研修先：福岡県大牟田市社会福祉協議会 研修内容：①大牟田市の概要について②地域支え合いマップの取組について
情報交換会	9月6日	先進地視察研修2日目(9月13日)に実施 テーマ：①大牟田市社会福祉協議会(支え合いマップ)に関する感想や意見②各福祉会の取り組みについて③平成30年度北海道胆振東部地震義援金並びに平成30年豪雨災害義援金への協力について④理事研修会の案内について
理事研修会	2月5日	講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保氏 内容：「見守るためのマップ」から「見守られるためのマップ」へ
北海道地震・7月豪雨災害募金活動	9月～3月	募金実績：210,644円 ※福岡県共同募金会宗像市支会を通じて福岡県共同募金会へ送金

(4) 宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

- 事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働して小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金、その他多くの地域福祉活動を推進している。
- 宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	299,000 円	299,000 円	299,000 円

(5) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動や介護予防いきいき交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進している。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	512,000 円	512,000 円	512,000 円

(6) 福祉バス貸出事業の適切な実施

■事業説明：研修や社会参加活動のため、福祉バスの貸出を行った。

貸出件数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	126 件	127 件	139 件

(7) ライフサポート事業の実施

①ライフサポート事業(地域福祉権利擁護事業)

■事業説明：本会の独自事業として、高齢者や精神障がいがある人、知的障がいがある人などで、判断能力が不十分な人の権利を擁護し、自分の意思に基づいて安心して生活を送ることができるよう支援する事業を平成 25 年 8 月 1 日から実施している。

本事業利用の可否等を審査する「運営審議会」の開催、また生活保護者を主とした県社会福祉協議会実施主体の「日常生活自立支援事業」もあわせて実施している。

■支援内容：①生活支援サービス…定期訪問による見守り、郵便物の管理等
②生活費管理サービス…福祉サービス利用援助、日常必要な預貯金の出し入れ等
③通帳等預かりサービス…預貯金通帳の保管や管理等

■職員体制：生活支援員 6 人（うち 5 人は兼務）、市民生活支援員 13 人登録

■ライフサポート事業利用実績 【毎年 3 月末現在の利用者数】

項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	11	+3	12	+1	20	+8
知的障害者	8	-1	8		10	+2
精神障害者	4		4		5	+1
そ の 他	2	+1	2		2	
合 計	25	+3	26	+1	37	+11

■ライフサポート事業利用内容

項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	実 績	実 績	実 績	前年比較	実 績	前年比較
生活支援サービス	25	+3	26	+1	37	+11
生活費管理サービス	22	+4	22		32	+10
通帳等預かりサービス	16		19	+3	31	+12

■日常生活自立支援事業利用実績（県社会福祉協議会委託事業）

項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	実 績	前年比較	実 績	前年比較	実 績	前年比較
高 齢 者	5	-2	3	-2	6	+3
知的障害者	2	-4	2		3	+1
精神障害者	3	+1	2	-1	4	+2
合 計	10	-5	7	-3	13	+6

②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（健康増進課精神保健係長）、宗像市役所（健康課保健福祉政策係長、福祉課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括支援センター職員）、精神保健福祉士（宗像病院/相談員） 計 6 人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
第 24 回審議会	平成 30 年 4 月 24 日	内 容：①委嘱状の交付 ②審議 ③報告：契約状況と現況報告 ▼審議案件：3 件（新規：1801/高齢.1802/高齢.1803/精神）
第 25 回審議会	平成 30 年 6 月 25 日	内 容：①審議 ②報告：契約状況と現況報告 ▼審議案件：1 件（新規：1804/高齢）
第 26 回審議会	平成 30 年 10 月 24 日	内 容：①審議 ②報告：契約状況と現況報告 ▼審議案件：2 件（新規：1805/知的.1806/知的）
第 27 回審議会	平成 30 年 12 月 19 日	内 容：①審議 ②契約状況と現況報告 ▼審議案件：4 件（新規：1807/高齢・精神.1808/高齢.1809/精神.1810/高齢）
第 28 回審議会	平成 31 年 2 月 25 日	内 容：①審議 ②契約状況と現況報告・前審議会後の進捗状況 ▼審議案件：1 件（新規：1811/高齢）

③その他の活動

項目	実施時期	主な内容
ケース会議	月 1 回 (計 12 回)	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報の共有化のための会議を毎月行いました。 事例検討：個別ケースの事例に基づく検討会を実施 ■(2 ヶ月に 1 回)実施 計 6 回
「生活支援員のつどい」の開催	9 月 6 日	目 的：ライフサポート・日常生活自立支援事業担当者を対象に、支援知識の習得および支援技術の向上を目的とし、生活支援員同士の交流を図る。 内 容：講演「ライフサポート事業における相談援助について～相談援助における強味(ストレングス)の視点～」 講師/九州ルーテル学院大学 人文学部心理臨床学科 西章男 准教授 場 所：メイトム宗像 203 会議室 参加者：市民生活支援員 12 人 生活支援コーディネーター等 8 人

福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会	10月31日	内 容：①利用者の意欲や力を引き出すための自立支援のあり方 ②活動報告「生活支援員の援助活動について」 ③グループ討議・まとめ 場 所：春日市クローバープラザ 参加者：市民生活支援員 6人
福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会	8月28日	内 容：講義・演習 「専門員がめざすべき支援のあり方について～アルコール依存症や精神疾患等に類する方への支援、対応に苦慮している問題と解決のための視点や手法、支援する際の留意点～」 講師/愛知淑徳大学 福祉貢献学部 瀧誠 氏 場 所：春日市クローバープラザ 参加者：担当職員 1人
福岡県日常生活自立支援事業関係職員研修会	2月25日	内 容：講義・演習 「初期相談受付とアセスメントの方法について」 講師/大村市社協 事務局次長 山下浩司氏 場 所：春日市クローバープラザ 参加者：担当職員 1人
福岡県日常生活自立支援事業業務委託事務説明会	3月13日	内 容：平成31年度中に全市町村実施方式へ移行することを目的に実施 場 所：春日市クローバープラザ 参加者：担当職員 2人
福岡県日常生活自立支援事業生活支援員養成研修会	1月16日	内 容：生活支援員養成研修会において「生活支援員の援助活動について」のテーマで、本会登録の市民生活支援員の活動報告 場 所：1月16日 シーメイト(志免町) 報告者：市民生活支援員 1人

(8) 心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談は、近年多様化している。そのため、他相談機関とも連携を図っている。主に法律、財産、離婚、家族関係等の相談が全体の約7割を占めている。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っている。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：447件 ■利用者数：149人

■相談件数及び相談内容

内 容		人権法律	財産	家族関係	離婚結婚	生計年金	住宅	事故	健康医療	職業生業	苦情	福祉関係	その他	合計
件数	平成28年度	96	74	85	38	48	40	0	28	2	5	30	10	456
	平成29年度	92	69	67	28	49	50	7	14	5	4	26	14	425
	平成30年度	103	72	75	33	54	39	10	16	10	1	23	11	447

(9) 災害援助ボランティア活動における協力・連携

- 平成30年度は要請なし

(10) 宗像市遺族連合会活動への助成

- 事業説明：宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付を行っている。
- 宗像市遺族連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	1,099,000 円	1,099,000 円	1,099,000 円

(11) 社協出前講座の実施

- 事業説明：地域における住民主体の地域課題解決・包括的な支援体制の第一の取組として、自治会など小地域を対象とした出前講座を平成29年4月よりスタートした。
出前講座のメニューは地域課題や福祉課題解決に向けた「見守りネットワーク入門」「ご近所支え合いマップづくり入門」「福祉座談会」な12項目。
- 実施回数：実施状況

講座No.	講座内容	29年度	30年度
No.3	「福祉会ってなに?」	3回	3回
No.4	地域の助け合い・支え合いを考える ～見守りネットワーク入門～	1回	1回
No.5	地域の助け合い・支え合いを考える ～ご近所支え合いマップづくり入門～	3回	1回
No.6	地域の助け合い・支え合いを考える ～福祉座談会～	1回	-
No.7	暮らしの安心をサポートします ～地域福祉権利擁護事業～	2回	-
合 計		10回	5回

4 広報広聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

- 事業説明：市広報紙タウンプレスむなかたを利用して年6回（偶数月の1日号）発行。
市民に地域福祉や本会活動についての理解と啓発を図っている。

実施時期	記事の内容
■第175号 4月1日発行 (2項)	チャリティボウリング大会お礼、在宅介護者1日リフレッシュセミナー参加者募集、オレンジカフェ開催のお知らせ、ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集・ボランティア活動保険加入受付のお知らせ・V-net登録・更新のお知らせ）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告・参加者募集）、他
■第176号 6月1日発行 (2項)	平成30年度社会福祉協議会事業計画・予算、ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集）、イオン黄色いレシートキャンペーン寄付謝礼、障害者生活支援センター（ピアサポーター紹介・ピアサポーターによる手話教室参加者募集）、他

■第 177 号 8 月 1 日発行 (2 項)	シリーズ㊸城西ヶ丘見守りネットワーク「むすび愛」活動紹介、在宅介護者 1 泊リフレッシュセミナー参加者募集、ひとり親家庭バスハイク参加者募集、平成 29 年度社会福祉協議会決算報告、ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール参加者募集・おもちゃ図書館休館日）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告・参加者募集）、地域福祉文庫講演会参加者募集、他
■第 178 号 10 月 1 日発行 (3 項)	赤い羽根共同募金協力のお願い（前年度実績額、使いみち、計画募金、目標額、目安額、支えられている募金、災害等準備金積立、実績額の推移）、共同募金配分団体紹介（社会福祉法人清浄会 緑ヶ丘学園）、RUN 伴+2018 九州ファイヤ宗像エリア報告、在宅介護者 1 泊リフレッシュセミナー参加者募集、地域福祉文庫講演会参加者募集、オレンジカフェ開催のお知らせ、ボランティアセンター通信（ボランティア入門講座参加者募集・ジュニアボランティアスクール報告）、他
■第 179 号 12 月 1 日発行 (2 項)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、おもちゃ図書館休館日お知らせ、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）、歳末たすけあい募金協力依頼、在宅介護者応援セミナー参加者募集、シリーズ㊸認知症サポーター支援事業の紹介、災害義援金謝礼、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン寄付謝礼、他、
■第 180 号 2 月 1 日発行 (3 項)	歳末たすけあい募金謝礼及び寄付者名簿、赤い羽根共同募金謝礼（河東地区福祉会・宗像楽謡会・大島学園街頭募金隊）、寄付謝礼（藤島部屋・くりえいと宗像・宗像手をつなぐ会・岡垣第一幼稚園）、認知症支援に関するお知らせ（オレンジカフェ日程・認知症サポーターステップアップ研修会、2019 年度版オレンジカフェ事業要綱）チャリティボウリング大会参加者募集、障害者生活支援センター（障害者虐待防止研修会報告）、他

（２）本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

- 事業説明：インターネットを利用して市内外の人々に 24 時間体制で情報を提供するとともに、「社協だより」や「ボランティアセンターだより」、また本会の各種計画や地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を図っている。
- 実施内容：本会ホームページの管理・運営を行った。「バナー」広告に関しては、空きがないように努め、全区画ご利用いただいている。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
アクセス ログイン数	33,816 件	34,967 件	40,473 件
	100.9%	103.4%	115.7%

5 高齢者福祉事業の推進

（１）宗像市在宅介護者支援事業（市委託事業）

- 事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者に、より良い介護が継続できるように、介護研修やリフレッシュ事業を行った。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	1 月 25 日	講 師：宗像市介護保険課 係長 原一寿 氏 内 容：介護保険制度について （平成 30 年度の改正点について） 場 所：メイトム宗像 101 会議室

一泊リフレッシュセミナー	10月25日～26日	参加者数：11人 訪問先：佐賀県嬉野市 宿泊先：嬉野温泉ホテル桜(佐賀県嬉野市嬉野町下宿乙1021) 内 容：滞在型リフレッシュ事業 参加者数：11人
一日リフレッシュセミナー	6月11日	訪問先：博多の食と博物館ハクハク (福岡市東区社領2丁目14-28) 内 容：交流会型リフレッシュ事業 参加者数：17人

(2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者の当事者組織である「ひまわり」に、人的・資金的支援を行った。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	155,000円	155,000円	155,000円

(3) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援（再掲）

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進した。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	512,000円	512,000円	512,000円

(4) 鍼灸治療費補助事業

■事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者に限り鍼灸治療費の一部を補助。平成20年度より後期高齢者医療被保険者についても市の委託事業として本会で一部補助を開始した。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき500円、月5回まで

鍼灸延べ利用件数	保険種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社会保険被保険者	1,053件	1,309件	1,622件
	後期高齢者医療被保険者	2,681件	3,374件	3,132件

(5) 認知症サポーター養成講座事業及び認知症サポーター活動支援事業

1. 認知症サポーター養成事業

① 認知症サポーター養成講座

■事業説明：平成25年度から宗像市より受託したこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちの創造を目指している。また、平成26年度からは、宗像市が開始した「福岡都市圏認知症高齢者捜してメール」の登録を参加者に呼びかけた。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催している。

■事業実績：

項目／年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
-------	--------	--------	--------

実施回数	42 回	42 回	36 回
受講者数	1,912 人	2,034 人	1,710 人

②認知症サポーターステップアップ研修会（認知症サポーターステップアップ講座）

■事業説明：平成 26 年度から宗像市より受託したこの講座は、「認知症サポーター養成講座」を修了した人が復習も兼ねて学習する機会を設け、より上級な講座など、地域や職域の実情に応じた取り組みを推進するための講座である。

■事業実績：

項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実施回数	2 回	1 回（4 日間）	1 回
受講者数	38 人	29 人	44 人

	実施日	場所	内容
1	平成 30 年 3 月 4 日（木）	メイトム宗像 202 会議室	（テーマ）認知症について知っておきたいこと —早期発見のための手がかりやいざという時の 支援組織を含めて— （講 師）医療法人 内科・放射線科 石野クリニック 院長 石野洋一氏

2. 認知症サポーター活動支援事業

①認知症地域支援推進員活動

■事業説明：認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、市町村ごとに、地域包括支援センター、市町村等に配置されている。医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を担っている。

研修関係

	日程	場所	研修名
1	6 月 3 日（日）	福岡市	ユマニチュード®実践講座
2	9 月 8 日（土）	北九州市	若年性認知症交流会
3	10 月 16 日（火）	春日市	認知症について考えるつどい
4	12 月 18 日（火）	福岡市	福岡県認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員ネットワーク研修
5	平成 31 年 1 月 18 日（金）	東京都	第 3 回認知症地域支援体制推進体制全国合同セミナー

会議

	日程	場所	内容
1	6 月 11 日（月）	宗像市役所 201 会議室	認知症地域支援推進員会議
2	8 月 13 日（月）	宗像市役所 201 会議室	認知症地域支援推進員会議
3	10 月 15 日（月）	宗像市役所 201 会議室	認知症地域支援推進員会議
4	平成 31 年 2 月 19 日（月）	宗像市役所 201 会議室	認知症地域支援推進員会議
5	平成 31 年 2 月 21 日（木）	メイトム宗像 202 会議室	オレンジカフェ事業情報連絡会

その他

	日程	訪問先開催場所	内容
--	----	---------	----

1	5月15日（火）	葉山区福祉会	オレンジカフェ実施について説明会
2	6月22日（金）	メイトム宗像多目的ホール	オレンジカフェって、なあに？ （いきいきふれあいサロン研修会にて）
3	6月27日（水）	認知症サポーター協議会	オレンジカフェ実施について説明会
4	7月18日（水）	丘の上の街	オレンジカフェ実施について説明会
5	7月22日（日）	河東地区福祉会	地域の人みんなでできることを… オレンジカフェの取り組みについて
6	随時	メイトム内会議室	キャラバンメイト会議

②オレンジ（認知症）カフェ

■事業説明：オレンジ（認知症）カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民など誰もが集うことのできる場所である。認知症になっても認知症の人や家族が安心して地域で生活できるように人や地域との繋がりを結ぶ事や認知症について正しい知識の普及啓発を目的としている。この活動を推進するために、宗像市内においてカフェを実施、運営する団体と個人に対し、その事業費の一部を助成しており、助成制度やオレンジカフェ運営に関する手引きを作成した。

■実施方法：認知症に関する講話、レクリエーション、医療・介護・福祉分野の専門職による相談コーナー他を設けている。

■相談協力団体：宗像市、宗像市内地域包括支援センター

	日程	場所	参加数	実施団体	内容
1	4月27日（金） 10:00～正午	メイトム宗像 結工房	54人	福祉ボランティア にじいろぼけっと	・ギターと歌によるミニコンサート ・音楽レクリエーション ・傾聴、ハンドマッサージ、マニキュア
2	6月5日（火） 10:00～正午	メイトム宗像 結工房	40人	福祉ボランティア 花いちもんめ	・脳トレ、指体操 ・コーラス ・ゆっくり茶話会
3	9月27日（木） 10:00～正午	障害者就労支援 丘の上の街	30人	特定非営利活動法人 丘の上の街	・施設保健師による健康講話 ・ギター生演奏 ・みんなで歌を歌おう（リクエスト付き）
4	10月12日（金） 10:00～正午	城西ヶ丘公民館	97人	城西ヶ丘見守り ボランティア むすび愛	・オカリナ演奏 ・ゲームコーナー、紙芝居 ・ハンドマッサージコーナー
5	10月26日（金） 10:00～正午	広陵台1丁目公民館	46人	広陵台1丁目福祉会	・脳トレと指運動、認知症 バイバイ体操 ・リコーダー演奏 ・美容指導
6	11月4日（日） 10:00～15:30	宗像ユリックス イベントホール	50人	（福）宗像市 社会福祉協議会	・認知症に関するクイズ ・認知症に関する理解啓発映像上映

					・茶話会
7	平成 31 年 1 月 30 日 (水) 10:00～正午	宗寿園デイサービスセンター 交流ホール	41 人	福祉ボランティア 花いちもんめ	・脳トレ、指体操 ・ギター演奏 ・ゆっくり茶話会
8	平成 31 年 2 月 27 日 (水) 13:00～15:00	自由ヶ丘第 3 公民館	66 人	自由ヶ丘地区福祉会 自由ヶ丘第 3 区サロン	・介護用品展示、説明コーナー ・ハンドマッサージ、プチメイクコーナー ・のんびり茶話会
9	平成 31 年 3 月 6 日 (水) 14:00～16:00	メイトム宗像 結工房	73 人	認知症 サポーター協議会	・頭の体操 ・菓のワンポイント講話 ・茶話会
10	平成 31 年 3 月 13 日 (水) 10:30～15:30	ハイマート 杏	31 人	福祉ボランティア 花いちもんめ	・指あそび ・オカリナ演奏 ・みんなで歌おう！
11	平成 31 年 3 月 20 日 (水) 14:00～16:00	宗像高校	49 人	宗像高校	・ハンドベル ・ビンゴゲーム ・いっしょにお菓子作り
12	平成 31 年 3 月 28 日 (木) 10:00～正午	障害者就労支援 丘の上の街	30 人	特定非営利活動法人 丘の上の街	・施設保健師による健康講話 ・ギター、オカリナ、フルート生演奏 ・春の歌を合唱

※開催協力オレンジカフェ

11 月 17 日 (土) 14:00～16:00	蜂須賀病院	50 人	蜂須賀病院	・みんなで歌おう ・認知症に関する講話、 Let's 脳トレ ・正月かざり作り
------------------------------	-------	------	-------	--

③「本人ミーティング」に関する取り組み

■事業説明： 認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場として、近年「本人ミーティング（通称）」が全国で広がっている。当市でも今年度、試験的に本人と介護者を対象とした懇談会を開催した。

	日程	場所	参加数	内容
1	12 月 15 日 (土)	メイトム宗像内会議室	2 組	おしゃべり会、相談
2	平成 31 年 1 月 15 日 (火)		3 組	
3	平成 31 年 2 月 15 日 (金)		4 組	
4	平成 31 年 3 月 15 日 (金)		4 組	

④RUN 伴（＋）2018 宗像エリア実行委員会事務局活動

■事業説明：日本全国のまちが、認知症になっても安心して暮らしていくことができる地域になることをめざして、認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレー「RUN 伴」は平成 23 年に始まり、宗像市は平成 27 年から参加している。平成 30 年度は九州ブロック独自の運営組織「RUN 伴+（プラス）九州ファイヤ」に参加した。

■実施方法：「宗像ユリックス」内を参加者全員（70 人）でパレードし、11/4 同日に開催された「子どもまつり」にて理解啓発活動を実施した。岡垣町から受け取ったタスキは、福津市につないだ。

■参加協力：宗像医師会・宗像歯科医師会・宗像薬剤師会・宗像市・北筑前福社会・久寿福社会

団 体 宗像市シニアクラブ連合会・宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会 他

＊会議＊

	日程	場所	内容
1	8 月 19 日（日）	宗像市役所 103 会議室	宗像市こどもまつり実行委員会
2	8 月 27 日（月）	岡垣町	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像・遠賀エリア会議
3	8 月 30 日（木）	メイトム宗像内会議室	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像エリアスタッフミーティング
4	10 月 2 日（火）	岡垣町	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像・遠賀エリア会議
5	10 月 16 日（火）	岡垣町	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像・遠賀エリア会議
6	10 月 25 日（木）	宗像市役所 103 会議室	宗像市こどもまつり実行委員会
7	10 月 29 日（月）	メイトム宗像内会議室	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像エリアスタッフミーティング
8	11 月 4 日（日）	メイトム宗像及び 宗像ユリックス	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像エリア大会 （参加者 70 人）
9	11 月 25 日（日）	宗像市役所 103 会議室	宗像市こどもまつり実行委員会反省会
10	平成 31 年 1 月 18 日（金）	東京都	RUN 伴+2019 開催説明会
11	平成 31 年 1 月 25 日（金）	宗像市	RUN 伴+2018 九州ファイヤ 宗像・遠賀エリア反省会

⑤その他

・エーザイ・ジャパン株式会社（地域連携九州本部）との認知症理解普及活動協力連携

（6）給食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で高齢者への「ふれあい型給食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行った。

助成額	団体名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	浜ゆうの会	137,400 円	137,400 円	138,000 円
	じょうもんさん会	62,600 円	62,600 円	62,000 円

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 車イス貸与事業

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

延べ利用者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	215 件	200 件	206 件

(2) 障がい児者福祉団体活動への支援

①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	200,000 円	225,000 円	225,000 円

②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	693,000 円	690,000 円	690,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がい者とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	80,000 円	80,000 円	80,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいがある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ活動費補助金を交付。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	388,000 円	388,000 円	388,000 円

⑤パソコンクラブへの支援

■内 容：障がい者で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本ともに生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年依頼している。

委託金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	30,000 円	30,000 円	30,000 円

(3) 障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、「聴覚障がい」と聴覚障

がいや難聴の人の理解促進を図る事業。

- 会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン
- 講習会日時：●火曜コース…19時から21時、金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時
- 運営委託：①手話サークル「シュワッチ」 ②玄海手話サークル「ゆび」

活動実績	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	38 回	736 人	38 回	564 人	38 回	736 人
金曜	38 回	347 人	38 回	360 人	38 回	347 人
土曜	36 回	1,194 人	36 回	1,091 人	36 回	1,194 人
合計	112 回	2,277 人	112 回	2,015 人	112 回	2,277 人

②声の広報配布事業

- 事業説明：視覚に障害がある市民へ、市や地域の情報を届けるため、毎月2回宗像市広報「むなかたタウンプレス」(1日・15日号)等を音訳、デジタル録音したCD-Rやカセットテープ等に録音し、配布する事業。
- 委託団体：日の里テープの会・日の里いずみの会・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	16 人	19 人	16 人

③要約筆記ボランティア事業

- 事業説明：要約筆記活動を軸に、聴覚・言語・音声機能などの障がいのために意思疎通を図ることに支障がある人に対するボランティア活動。過去、本会が実施した福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」の受講者を中心に結成した「暖歩(ダンボ)」により、今年度も定期的な活動を実施した。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
毎月1回開催	メイトム宗像	学習会、講演会等での要約筆記協力 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

(4) おもちゃ図書館の運営

- 事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」等の療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設。おもちゃの貸し出しも実施した。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託した。おもちゃの作成、貸し出し運営以外にも、「出張おもちゃ図書館」、グループ内学習としてウッドギャラリーアンから講師を招いておもちゃの療育効果についてなど学習を行いスタッフの質の向上に取り組んだ。さらに広報紙「たんぽぽ通信」(年2回)を発行した。
- 開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F
- 開館日時：毎週木曜日14:00~17:00・第2・4土曜日14:00~16:00
- 運営委託：宗像おもちゃライブラリー

活動実績	項目/年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	制作点数	19 点	23 点	21 点
	貸出し件数	824 件	855 件	757 件

	延べ利用入館者数	794 人	974 人	811 人
	出張・臨時おもちゃ図書館	3 回	4 回	2 回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に在所することが困難な団体などに対し出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	参加者数
平成 30 年 11 月 27 日	河東小学校ひまわり学級交流会	14 人
平成 31 年 1 月 16 日	日の里西小、日の里東小合同交流会（日の里西小学校）	51 人
合計	2 回	65 人

（５）車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢または障がいのある車イス利用者が、地域の行事などの社会参加や通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業。

	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
活動実績	利用登録数	個 人	14 人	9 人
		団 体	1 団体	1 団体
		スロープカー	23 回	14 回
			14 回	36 回

7 低所得者福祉事業の推進

（１）生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や生活意欲の助長を促進し、安定した生活を営めるようにするための資金貸付制度。平成 21 年度には、世界的長期経済金融情勢の悪化に伴い、日本においても多くの非正規労働者などが雇用や住居を失う事態となったため、この制度が大きく改正され、失業者への再就職支援、生活や住居維持の総合的な支援ができる「総合支援資金」が新設された。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や高校卒業を支援する「教育支援資金」や生活保護受給までのつなぎとしての「緊急小口資金」などがある。

	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
貸付実績	教育支援資金	32 件	24 件	29 件
	福祉費	3 件	3 件	5 件
	緊急小口資金	33 件	35 件	38 件
	臨時特例つなぎ資金	0 件	4 件	1 件
	総合支援資金	2 件	5 件	4 件
	合 計	64 件	71 件	77 件

②「生活困窮者支援制度」による支援事業との連携

■事業説明：宗像市福祉課が行う支援調整会議へ出席し、貸付等について協議を行うことで「生活困窮者支援制度」と、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携を図った。

（２）歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

①歳末たすけあい募金配分委員会

■事業説明：集まった募金について、募金配分先や金額等を協議する会議。

実施日	場 所	主な内容
12 月 21 日	メイトム宗像 202 会議室	配分委員会において平成 30 年度募金実績額の報告及び平成 30 年度募金配分計画等について協議・決定を行った。

②歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組んだ。

■実施内容：民生委員児童委員が商店や企業などを訪問して歳末募金を行い、福祉団体等や生活困窮者、各福祉会へ募金の配分を行った。また 29 年度から、本会の教育支援資金の貸し付けを受け、現在高等学校等に在学中で生活保護を受けていない世帯に対して、ひとり 10,000 円の配分を行っている。

■実施期間：11 月 1 日～12 月 31 日

活動実績	項目／年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	募 金	実 績 額	2,299,506 円	2,293,093 円	2,232,315 円
	配 分 金 額	生活困窮者世帯 【 世帯数 】	30,000 円 【 6 世帯】	170,000 円 【 17 世帯】	110,000 円 【 11 世帯】
		※ 福 祉 団 体 等	657,000 円	614,000 円	524,000 円
		地 区 福 祉 会	1,612,000 円	1,509,000 円	1,598,000 円
		共 同 募 金 へ 繰 入	506 円	93 円	315 円

※福祉団体等：子育てサロン・子育てサークル、福祉団体、ボランティアグループ

8 子育て子育ち・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育ち支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

■助成内容：子育て支援事業の重要性に鑑み、平成 26 年度より NPO 法人 むなかた子育てネットワークこねっとへの活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	40,000 円	40,000 円	40,000 円

②子育てサロンや子育て支援団体活動への助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、配分を希望する子育てサロンや子育て支援団体へ活動資金の助成を行った。 ※（ ）内の数字は助成団体数

補助金額	交付団体	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	子育てサロン	254,000 円 (9)	254,000 円 (9)	254,000 円 (9)
	子育て支援団体		150,000 円 (5)	120,000 円 (4)

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行った。現在では 4 文庫が活動を行っている。平成 18 年に、5 つの文庫による連絡協議会を設立した。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大

切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員の研修会の実施を支援した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	10月29日	場 所：メイトム宗像 202 会議室 演 題：発達をとおしてみた絵本 講 師：福筑紫女学園大学 教授 酒井 均 氏

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	215,000 円	215,000 円	235,000 円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援や子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会活動への支援・協力を実施

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付、事業の活動支援等を行った。

■活動支援の内容

実施時期	実施事業	主な活動内容
9月9日	一日バスハイクへの支援	訪問先：朝倉市 参加者：28人 支援内容：事業に関する連絡調整や参加者の募集、事業の進行や安全管理等について協力を行った。
7月・8月・12月	サロン活動等支援	実施回数：3回 延べ参加者：16人 支援内容：会員親子の交流と新規会員確保のための、クリスマス会等の実施協力や会員募集チラシの作成などの協力を行った。

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成 18 年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を推進・強化した。

指定校（園）数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援した。

■実施校数：小学校 14 校+中学校 2 校+高校 2 校

■支援回数：小学校 131 回（日）+中学校 2 回（日）+高校 10 回（日）

対象者数	学校/学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	職員	計
	小学校	47 人	28 人	587 人	907 人	397 人	279 人		2,245 人
	中学校	0 人	0 人	348 人					348 人
	高 校	383 人	303 人	0 人				7 人	693 人
	平成 30 年度 合計								3,286 人
	平成 29 年度 合計								3,620 人
	平成 28 年度 合計								3,515 人

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	3 年生 (25 人)	■実施日：1 月 21 日・29 日、2 月 8 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)、「伝えること」についてのお話し、聴覚障がい者との交流、手話体験、感謝の会
	4 年生 (21 人)	■実施日：1 月 9 日、11 日、23 日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：ガイド・アイマスク・点字体験、視覚障がい者との交流
	5 年生 (22 人)	■実施日：7 月 3 日・10 日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6 年生 (20 人)	■実施日：11 月 14 日・16 日・19 日 ■主な協力者：福祉会、地域の高齢者、民生委員児童委員 ■主な内容：高齢者疑似体験、高齢化率などの講話、認知症サポーター養成講座
赤間小学校	4 年生 (157 人)	■実施日：6 月 8 日、12 日、13 日、26 日、27 日、7 月 2 日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者 ■主な内容：ガイド・アイマスク体験、点字体験、視覚障がい者との交流
自由ヶ丘小学校	3 年生 (85 人)	■実施日：11 月 5.16 日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：聴覚障がい者の方との交流会/「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験(グループ学習)・感謝の会
	4 年生 (94 人)	■実施日：11 月 19、28、12 月 6、13 日、1 月 11 日 ■主な協力者：ガイドボランティア「アイフレンド」・点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者 3 人 ■主な内容：導入学習・(児童・保護者)アイマスク体験(各 1 回)・点字体験(1 回)・視覚障がい者との交流(2 回)
	5 年生 (89 人)	■実施日：10 月 3 日、9 日、10 日、15 日、16 日、23 日、26 日 ■主な協力者：自由ヶ丘地区福祉会役員と福祉委員・保護者 ■主な内容：導入学習/宗像市や自由ヶ丘地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・自由ヶ丘地区福祉会の役割や活動について知る・

		認知症サポーター養成研修
		■実施日 ：11月6日、21日、30日 ■主な協力者 ：自由ヶ丘地区福祉会・地域の高齢者 ■主な内容 ：自由ヶ丘地区福祉会主催の一人暮らし高齢者と80歳以上の高齢者を対象とした「えがおの会」での交流
		■実施日 ：12月末～翌年1月 ■主な協力者 ：自由ヶ丘地区福祉会・福祉委員・地域の高齢者 ■主な内容 ：「えがおの会」に参加された高齢者へ年賀状の配布
自由ヶ丘南 小学校	3年生 (62人)	■実施日 ：9月20、27、28日、10月12日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容 ：導入学習・出会いの交流会・「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験(グループ学習)
	4年生 (64人)	■実施日 ：10月31日、11月7、13、20、26日、12月5日 ■主な協力者 ：ガイドボランティア「アイフレンド」・点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者2～3人 ■主な内容 ：導入学習・(児童・保護者)アイマスク体験(各1回)・点字体験(2回)・視覚障がい者との交流(2回)
	5年生 (75人)	■実施日 ：9月11日、10月2日、4日、10日、12日 ■主な協力者 ：自由ヶ丘地区福祉会役員と福祉委員・保護者 ■主な内容 ：導入学習/宗像市や自由ヶ丘地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・自由ヶ丘地区福祉会の役割や活動について知る・認知症サポーター養成研修
赤間西小学校	3年生 (72人)	■実施日 ：10月1日・3日・26日・11月5日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：モコ体験ゲーム(簡易版)伝える方法について・手話を使って歌をうたおう・聴覚障害者との交流・手話学習・ふれあい学習発表会
	4年生 (89人)	■実施日 ：11月5日・6日・28日 ■主な協力者 ：ガイドボランティア「アイフレンド」・視覚障がい者 ■主な内容 ：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)・学習したことの報告・交流会
	6年生 (82人)	■実施日 ：9月10日・26日・10月10日・16日・17日・19日・22日・26日・12月3日 ■主な協力者 ：赤間西地区福祉会役員・地区内小地域福祉会役員・地域ボランティア・自治会・民生委員児童委員 ■主な内容 ：赤間西地区の現状・高齢化に関する講話・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座・高齢者の地域の居場所への取材訪問・給食交流会・研究発表・学習発表、交流会
東郷小学校	3年生 (109人)	■実施日 ：11月2日・12日・30日・12月10日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流・伝言、ジェスチャーゲーム・手話体験・学習発表会

	4年生 (103人)	■実施日：9月28日・10月12日・18日・11月14日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験（児童及び保護者）点訳体験、視覚障がい者との交流会、学習発表会
南郷小学校	1年生 (47人)	■実施日：1月25日・2月8日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験・手話で歌おう
	2年生 (28人)	■実施日：1月25日・2月8日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験・手話で歌おう・じゃんけん列車・好きを伝えるゲーム
	4年生 (34人)	■実施日：10月10日・15日・11月19日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流・アイマスク、ガイド体験（児童及び保護者）・点訳体験
	6年生 (44人)	■実施日：2月8日・13日 ■主な内容：高齢者疑似体験
日の里西小学校	3年生 (58人)	■実施日：9月21日、・10月2日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：導入学習・出会いの交流会・「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験(グループ学習)
	4年生 (66人)	■実施日：9月14日、25日、10月9日、22日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：導入学習・視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童/各1回)・点字体験(1回)・学習したことの報告・交流会
	5年生 (53人)	■実施日：6月15日、18日、20日、28日、7月11日 ■主な協力者：日の里地区福祉会役員・保護者 ■主な内容：導入学習/宗像市や日の里地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・日の里地区福祉会の役割や活動について知る・認知症サポーター養成研修
		■実施日：10月15日、19日、10月30日 ■主な協力者：車いす利用者・保護者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会・発信壁新聞づくり(コミセンに掲示し地域へ発信)
日の里東小学校	3年生 (48人)	■実施日：10月10日、22日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：導入学習・出会いの交流会・「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験(グループ学習)・4グループに分かれて聴覚障害者・ボランティアに対して質疑応答
	4年生 (40人)	■実施日：2月7日、15日、19日、3月5日、12日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：導入学習、視覚障がい者との交流会(2回)・アイマス

		ク体験(保護者・教職員・児童)1回・点字体験(1回)・学習したことの報告・交流会
	5年生 (51人)	■実施日 ：6月25日、7月5、9、13、17日 ■主な協力者 ：日の里地区福祉会役員・保護者 ■主な内容 ：導入学習/宗像市や日の里地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・日の里地区福祉会の役割や活動について知る・認知症サポーター養成研修
河東小学校	3年生 (128人)	■実施日 ：9月14日・10月15日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流(テーマ別交流)・手話体験等・河東っ子まつりへシュワッチを招待/学んだことの発表
	4年生 (128人)	■実施日 ：11月28日・30日、12月7日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験(保護者・児童・教員)、点訳体験、視覚障がい者との交流会(2回)
	5年生 (107人)	■実施日 ：6月28日・7月5日 ■主な協力者 ：車いす利用者、保護者 ■主な内容 ：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (133人)	■実施日 ：6月4日・7日・8日・26日 ■主な協力者 ：河東地区内の福祉会・河東地区内の見守り活動団体・民生委員児童委員・保護者・地域の高齢者 ■主な内容 ：河東地区の現状・高齢化に関する講話、高齢者疑似体験、ふれあい交流会、河東っ子まつりへの招待
河東西小学校	4年生 (76人)	■実施日 ：9月18日・28日・10月4日、9日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流会(2回)
玄海小学校	4年生 (14人)	■実施日 ：5月18日、6月6日、20日、25日、9月4日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、聴覚障害者、ガイドボランティア「アイフレンド」、手話サークル「ゆび」、点訳ボランティア「ねむの会」、保護者 ■主な内容 ：手話体験、アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流
玄海東小学校	4年生 (19人)	■実施日 ：10月5日、25日、12月10日、18日 ■主な実施者 ：社協職員、教職員、ハイマート杏 ■主な内容 ：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、高齢者とのふれあい交流
地島小学校	4年生 (2人)	■実施日 ：11月15日 ■主な協力者 ：保護者、漁村留学の会長、担任教師 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験 / 車いす体験
城山中学校	3年生 (228人)	■実施日 ：2月15日 ■主な内容 ：認知症サポーター養成講座
中央中学校	3年生 (120人)	■実施日 ：1月19日 ■主な内容 ：認知症サポーター養成講座

東海大学付属 福岡高等学校	1 年生 (388 人)	高校生ボランティアスクールのページを参照
宗像高等学校	2 年生 (305 人)	高校生ボランティアスクールのページを参照

③福祉教育推進校連絡会の実施

■事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校による福祉教育推進校（園）の連絡会を 2 回開催した。

実施事業	実施日時	主な内容
第 1 回連絡会	■7 月 4 日 ■メイトム宗像 202 会議室	① 福祉体験学習のご案内 →福祉教育の申込等について ② 各園校の福祉教育の取組み報告 ③ 宗像市福祉教育セミナーの開催案内 ④ 福祉教育読本「ともに生きる」の活用依頼 ⑤ 福祉絵画コンクールの協力依頼 ⑥ ジュニアボランティアスクール開催案内 ⑦ 認知症サポーター養成講座について ⑧ 出張おもちゃ図書館について ⑨ その他
第 2 回連絡会	■2 月 日 ■メイトム宗像 202 会議室	① 福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ② 福祉絵画コンクールおよび福祉教育読本「ともに生きる」感想文の作品集『ともだち』の配布 ③ 福祉教育【報告】「赤間西小学校 6 年生～高齢者を理解する学習について～」赤間西地区福祉会会長より ④ 認知症サポーター活動支援事業について ⑤ その他

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

■事業説明：市内の小学 5 年生を対象に福祉読本「ともに生きる」を配布し、読後感想文を募集して、優秀な感想文には表彰を行った。優秀な作品は「市民活動交流館まつり」当日メインステージで表彰を行い、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開した。

■活動内容：市子どもまつり(ユリックス)会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。

■対象児童：市内全小学校 5 年生

■活用冊数：904 冊（全 5 年児童）

■応募数：90 作品（30 クラス）

■表彰日：11 月 4 日「市子どもまつり（ユリックス）」

⑤福祉絵画コンクールの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちやその保護者に、福祉への関心を高めってもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。

■活動内容：市子どもまつり会場(ユリックス)にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。

■応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒

■表彰期日：11月4日「市子どもまつり（ユリックス）」

参加作品総数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	473 作品	496 作品	622 作品

（２）地域福祉推進事業所職員研修協力事業

■事業説明：地域の事業所が行う職員研修に「ノーマライゼーション」や「ボランティア」「地域福祉」「認知症」「見えにくい障がい」等の要素を付加した研修を行う場合に、福祉教育の観点から「地域福祉推進事業所」として研修を支援した。

実施事業	実施日時	主な内容
さわやか むなかたのもり	12 月 17 日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：15 人 場 所：さわやかむなかたのもり内ホール
宗像市初任層職務支援 研修	10 月 3 日	内容 ・身体、知的、精神、発達障がいなどに関する知識や、障害 模擬体験、窓口対応等の具体的コミュニケーション方法等 について。 ・ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョン、障 害者差別解消法の概念などについて。 参加者：宗像市役所入庁 1（2）年目の職員 20 人 場 所：メイトム宗像 202 会議室 協 力：あじさいの会

（３）社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：将来、社会福祉の専門職もしくは専門資格を取得することを目的として社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行った。

実習生 受入実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	■福岡教育大学 1 人 期間：9 月 26 日～10 月 7 日（実質 10 日間） 福岡教育大学 2 人 期間：9 月 26 日（実質 1 日） ■西南学院大学 2 人 期間：8 月 9 日～9 月 13 日（実質 24 日間）	■西九州大学 1 人 期間：8 月 16 日～9 月 21 日（実質 24 日間） ■西南学院大学 1 人 期間：8 月 16 日～9 月 21 日（実質 24 日間）	■筑紫女学園大学 1 人 期間：8 月 16 日～9 月 19 日（実質 24 日間） ■筑紫女学園大学 1 人 期間：2 月 26 日～3 月 19 日（実質 16 日間）

（４）第 14 回宗像市福祉教育セミナーの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）の先生や地域福祉の推進に関わる人に福祉教育への理解と、地域福祉への参画を推進するため、平成 17 年から標記セミナーを開催している。

■事業内容：第 14 回の福祉教育セミナーのテーマは、『むすぶ手・つなぐ手～あなたは、どんな地域（まち）に暮らしたいですか？～』。福祉教育の目的は、子どもから高齢者まですべての世代が、ともに生きる力を育み、ともに支え合う地域づくりを目指すことにあります。何歳になっても安心して過ごせる地域（まち）づくりについて、一緒に考えていくことを目的に開催した。

■実施期日：平成 30 年 8 月 2 日（木） 10:00～12:00

■実施場所：メイトム宗像 多目的ホール

■実施内容：

項 目	主な内容
講 演	むすぶ手・つなぐ手 ～あなたは、どんな地域（まち）に暮らしたいですか？～ ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

■参加者数：

参加者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	233 人	225 人	192 人

（５）ワクワク WORK の受け入れ

■事業説明：福祉教育の一環として、市で取り組む「ワクワク WORK」の受け入れを行い、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、「赤い羽根共同募金運動」などについて学ぶ機会を提供した。

■期 間：9 月 10 日（月）～14 日（金）の 5 日間

■内 容：総務・福祉係に 2 人、のぞみ園に 2 人

10 活動財源の確保

（１）チャリティボウリング大会

■事業説明：健康づくりとチャリティを目的としたボウリング大会。市内外の地域福祉推進事業所と市民によって支えられている。

■期 日：2 月 22 日（金）

■会 場：宗像シティボウル（王丸）

■協賛等：市内外の多くの事業所に賞品や資金の提供や宣伝活動、参加協力等を受けている。

事業実績	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	参加者	121 人	117 人	112 人
	益金額	299,249 円	301,049 円	296,549 円

（２）共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：自動販売機で飲料水等を買うと本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進した。

■設置状況：設置場所 計 12 か所 設置台数 計 17 台

設置台数と実績額	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
合計	設置台数	0 台	0 台	1 台設置
	金 額	715,128 円	806,091 円	774,899 円
	差 異		90,963 円	△31,192 円

（３）香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施

■事業説明：香典返しの寄付や一般の寄付などの受け入れを行った。30,000 円以上の寄付者に感謝状を贈呈し、50,000 円以上の場合は、初盆参りも実施した。

事業	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
----	-------	----------	----------	----------

実績	感謝状贈呈数	24 件	32 件	27 件
	香典返寄付金	109 件 (2,723,000 円)	115 件 (2,745,000 円)	106 件 (2,698,027 円)
	一般寄付金	5 件 (276,323 円)	8 件 (1,369,459 円)	8 件 (365,066 円)
	計	114 件 (2,999,323 円)	123 件 (4,114,459 円)	114 件 (3,063,093 円)

(4) ファンドレイジング（資金調達）に関する事業の実施

①福祉機器貸出の有料化

- 貸与品：車イス（自走式・介助式）
- 対象者：高齢者や傷病者の介護など一時的に必要な人に貸出を行った。
- 料金等：運営協力費として1回 500 円
- 期 間：1～30 日間（原則として1回1ヵ月以内。ただし、更新2回まで可）
- 事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

事業実績	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	延べ利用件数	215 件	200 件	206 件
	運営協力費	107,500 円	100,000 円	103,000 円

②イオングループ黄色いレシート活動への参加

- 内 容：イオングループ黄色いレシート活動に参加し、イオンモール福津の買い物客が黄色いレシートで投票した金額の1%相当額の現物寄附を受けた。

年 度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
寄附の内容	総計額	1,131,807 円	615,256 円	106,813 円
	寄付金額	11,300 円	6,200 円	10,800 円

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

① ボランティア登録事業の促進および V-net の効果的運営

ボランティア登録事業実績		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ボランティア登録	提供個人	16 件	19 件	21 件
	提供団体	2 件	1 件	5 件
	依頼個人	2 件	3 件	0 件
	依頼団体	8 件	3 件	12 件
	依頼申込個人	55 件	66 件	130 件
	依頼申込団体	62 件	51 件	60 件
ボランティア活動状況	件 数	401 件	404 件	420 件
	活動人数	2,005 人	2,003 人	1,960 人
	調整数	447 件	483 件	580 件
HP アクセス数	アクセス件数	2,266 件	2,075 件	1,672 件
センター利用状況	窓 口	2,047 件	2,027 件	2,034 件
	電 話	1,319 件	1,565 件	1,679 件
	合 計	3,366 件	3,592 件	3,713 件

	対前年比	101%	107%	103%
--	------	------	------	------

■ ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健医療	環境	観光	国際交流	まちづくり	子ども	学習	合計
個人 (人)	470 39.3%	72 6.0%	111 9.3%	111 9.3%	71 5.9%	88 7.4%	174 14.5%	99 8.3%	1,196
団体 (団体)	67 52.3%	8 6.3%	12 9.4%	5 3.9%	3 2.3%	8 6.3%	13 10.2%	12 9.4%	128

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時(平成 14 年 3 月)からの累計。

②宗像市市民活動交流館の企画運営への協力

■事業説明：NPO、ボランティア団体の活動を支援および協働し、市民活動交流館の運営などについて協議や検討を行うメイトム会議に参加。

■実施日：毎月第 4 火曜日

(2) ボランティア講座の開催

①ボランティア入門講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい人、始めて間もない人、ボランティア活動および、この講座に関心のある人を対象に開催した。

■事業内容 宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産登録され、注目されている“宗像の歴史を伝えるボランティア”に視点を当て講座を開催。地域学芸員指導のもと「まが玉づくり」を体験し、ガイドボランティアの意義と目指す姿勢について学んだ。宗像歴史観光ボランティアによる講義では、ガイドボランティアについての基礎知識を学び、宗像大社境内で実際のガイドも体感した。また、募集中のボランティア活動やボランティアネットワークについての紹介もし、活動への幅広い選択の機会とした。

■実施期日：11 月 10 日(土)

■実施場所：海の道むなかた館・宗像大社

■講師：講師：地域学芸員 辻 洋子氏・園元 かをり氏
宗像歴史観光ボランティアの会 東 修一氏

参加者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	22 人	6 人	20 人

②ジュニアボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づき、小学生と中学生を対象に、福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を実施している。今年度は、低学年(バンビコース 小学 1～3 年とその保護者)と高学年(ピッコロコース 小学 4 年以上)のコースを設けた。

1) バンビコース

■事業内容：バンビコースは、子どもと保護者が一緒に参加する体験学習型のスクールである。今回は、「身近にある環境を知る」をテーマに、地域にある海にプラスチックゴミが溜まる仕組みや地域に飛来する蝶アサギマダラの生活できる環境づくりなどを実物をも見ながら学んだ。また、市内にある福祉施設や高齢者施設を見学、施設を利用する高齢者やボランティアとも交流した。

修了後、参加者（子どものみ）全員「こども福祉員（通称：バンビ）」に任命された。

■実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、宗寿園福祉センター・デイサービス暖々

実施時期	内 容
7 月 28 日	☐ オリエンテーション ☐ 身近な生き物と自然環境を学ぶ ☐ デイサービス利用の高齢者と交流ランチと一緒に作品づくり ☐ 福祉センター見学

2) ピッコラコース

■事業内容： 今年度は、「高齢者や障がい者の感じる生活しづらさ」を学び、誰もが参加し、楽しめるレクリエーションを考え、実践する学習内容を企画した。相手に合わせたコミュニケーションの意義や工夫を考える機会となった。

修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：ピッコラ）」に任命された。

■実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、岬地区コミュニティセンター

実施時期	内 容
8 月 21 日	☐ 高齢者・障がい者擬似体験 ☐ 高齢・障がいとボランティアについて知る（交流体験学習） （協力：あじさいの会） ☐ 振り返り学習
8 月 22 日	☐ 地域の高齢者サロンを学ぼう ☐ 福祉レエーションを体験・企画（講師：宗像市レクリエーション協会） ☐ 振り返り学習
8 月 23 日	☐ フィールドワーク・交流学習 ●高齢者の地域サロンに参加・レクリエーションを実践してみよう （協力：岬地区あいまいサロン・宗像市レクリエーション協会） ☐ ふりかえり学習 ●ジュニボラプレスづくり、ふりかえり

参加者数	平成 28 度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	バンビ	14 組	バンビ	10 組	バンビ	5 組
	ピッコラ	18 人	ピッコラ	10 人	ピッコラ	5 人

③高校生ボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、市内にある 2 高等学校を「推進校」を指定し、福祉教育を推進・強化している。各高校の生徒、教諭を対象にしたボランティアスクールで、今できるボランティア活動、また将来経験を重ねて取り組む場合に予備知識となるような学習を実施した。

■事業内容：

- ・今年度もノーマライゼーションの理念に基づく「共生」をテーマに、地域社会の課題を「自分たちの問題」としてとらえる学習内容に力を入れた。
- ・宗像高等学校では、教育課程「家庭基礎」の単元で「高齢者」について学んだ 2 年生を対象として、5 日間に渡り、認知症に対する理解を深める学習に取り組んだ。

- ・東海大学付属福岡高等学校は、現代社会の様々な時事を取り上げている「現代文明論」の単元にて、社会課題のひとつ「認知症」について理解を深めた。5 日間に渡り、1 年生が「認知症サポーター養成講座」を受講した。

参加者数	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	東海大学付属福岡高等学校	294 人	380 人	388 人
	宗像高等学校	322 人	312 人	305 人

【東海大学付属福岡高等学校】

実施時期	実施場所	内容
9/11・12・13・ 14・18	東海大学付属 福岡高等学校	☐ 現代社会論 ☒ 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） （講師：宗像市社会福祉協議会職員）

【宗像高等学校】

実施時期	実施場所	内容
7/9・10・11・ 12・13	宗像高等学校	☐ 高齢者理解の学習 ☒ 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） （講師：宗像市社会福祉協議会職員）

④福祉ボランティア養成講座

- 事業説明：ボランティア活動を始めたい、またはすでに活動しているが、他のボランティア活動も興味がある市内在住者などを対象に開催するもの。
- 事業内容：障がい児を支える仕組みや地域資源を知ること、障がい児やその家族・そこに関わる関係者の状況を理解し、講座の中でボランティア体験を行うことで、参加者がボランティア活動を始めるきっかけや活動の幅を広げる機会となる講座を企画した。受講者確保のため、広報活動したものの、応募者が少数により、今年度は中止した。

■実施期日：2月20・21・22・23・体験学習1日・3月15日の計6日間

実施時期	実施場所	内容
2月20日	メイトム宗像	☐ ボランティアと子どもを取り巻く環境について（基礎学習） （講師：麻生医療福祉専門学校 講師 前田秀敏 氏）
2月21日	メイトム宗像 101・別館	☐ 障がいのあるこどもに関わる・支える ☒ おもちゃ図書館 制作体験、図書館見学・作業体験 （講師・協力：宗像おもちゃライブラリー）
2月22日	宗像市市内施設	☐ 就学期の子どもに関わる・支える ☒ 放課後等デイサービスを知る（講義・体験） 訪問先：げんきっこくらぶ ほっぷ げんきっこくらぶ じゃんぷ
2月23日	メイトム宗像内 施設	☐ 就学前後の子どもに関わる・支える（講義・体験） 訪問先：発達支援センター療育施設 のぞみ園 学校適応指導教室 ☐ ボランティア体験学習について説明
2月下旬から3月中旬 体験学習（福祉施設など）		
3月15日	メイトム宗像	☐ ボランティア実践について（フォローアップ研修） （講師：麻生医療福祉専門学校 講師 前田秀敏 氏）

■参加者数：

参加者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	24 人	19 人	0 人

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

①福祉ボランティア活動連絡協議会の育成・補助

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などへの助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。平成 30 年度現在、11 団体が所属している。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
運営推進委員会	毎月 2 回開催	※毎月最終週のいずれか平日：午後 6 時 30 分～
連絡会	毎月 1 回開催	※毎月第 1 水曜：午後 2 時～
定期総会	4 月 21 日	場 所：メイトム宗像
全体研修	11 月 22 日	場 所：福岡市 テーマ：視察研修 訪問地：1.NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN 子どもの村福岡 2.福岡市博物館
役員研修	8 月 29 日	場 所：筑前町 テーマ：視察研修 訪問地：筑前町ボランティア連絡協議会との意見交換会
役員研修	10 月 19 日	場 所：クローバープラザ テーマ：ボランティアスキルアップ研修 地域活動のリーダーはどこにいる？ ～コミュニケーションが変われば明日が変わる～ 講 師：福岡テンジン大学 学長 岩永 真一 氏

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援

補助金交付額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	510,000 円	510,000 円	510,000 円

②ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力

■事業説明：県内で開催されるボランティア等のフェスティバル。現在は、「ふくおかボランティアのつどい」と「ふくおか子どもすくすくフェスタ」を統合して開催している。

■事業内容：ふくおか「きずな」フェスティバルに参加

□講 演：ご近所の底力、あなたの力で街が輝く

講 師：堀尾 正明氏（フリーアナウンサー）

□ボランティア活動別分科会

■実施期日：平成 31 年 2 月 17 日

■実施場所：クローバープラザ（春日市）

■参加者数：福祉ボランティア活動連絡協議会員 26 人

③ボランティア活動振興基金積立事業

■事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を福祉ボランティア活動連絡協議会に助成した。

	項目／年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実績額	基金果実	2,810 円	2,810 円	6,424 円
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

④ボランティア保険加入補助

■事業説明：V-net に登録している個人及び団体ボランティアや福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人 175 円を補助した。

合計補助金額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	195,000 円	242,500 円	255,000 円

※平成 28 年度までは保険料一人 150 円の補助

12 赤い羽根共同募金運動への協力

(1) 共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催、当該年度の募金目標額や募金活動について審議、決定した。理事は、地区自治会長会代表 12 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会より 1 人、シニアクラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されている。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として募金活動を行った。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を行った。

年度実績		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
項目	■戸別募金	10,735,244 円	10,608,827 円	10,271,404 円
	■街頭募金	173,946 円	148,478 円	126,406 円
	■学校募金	172,675 円	98,785 円	138,958 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	650,732 円	703,943 円	694,095 円
	■イベント募金	130,438 円	86,695 円	104,595 円
	■個人募金、その他	195,434 円	131,297 円	160,631 円
	実績額合計	12,058,469 円	11,778,025 円	11,496,089 円
	対前年比		97.6%	97.6%

■配分実績

募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市への平成 30 年度の配分先と配分金額は

次のとおり。

	配分先	配分金額
■地域配分（B 枠） 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に、申請に基づいて配分される。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行う事業費。	高齢者福祉に	1,201,000
	児童・青少年福祉に	1,019,919
	障がい児・者福祉に	2,123,000
	子育て支援活動に	545,000
	ボランティア活動に	534,000
	福祉会活動の支援に	2,683,000
	情報提供・啓発活動に	469,000

（２）歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

※ 7 低所得者福祉事業の推進（２）歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分を参照。

13 障害者生活支援センター運営事業

■宗像市委託事業

（１）障害者生活支援センター事業

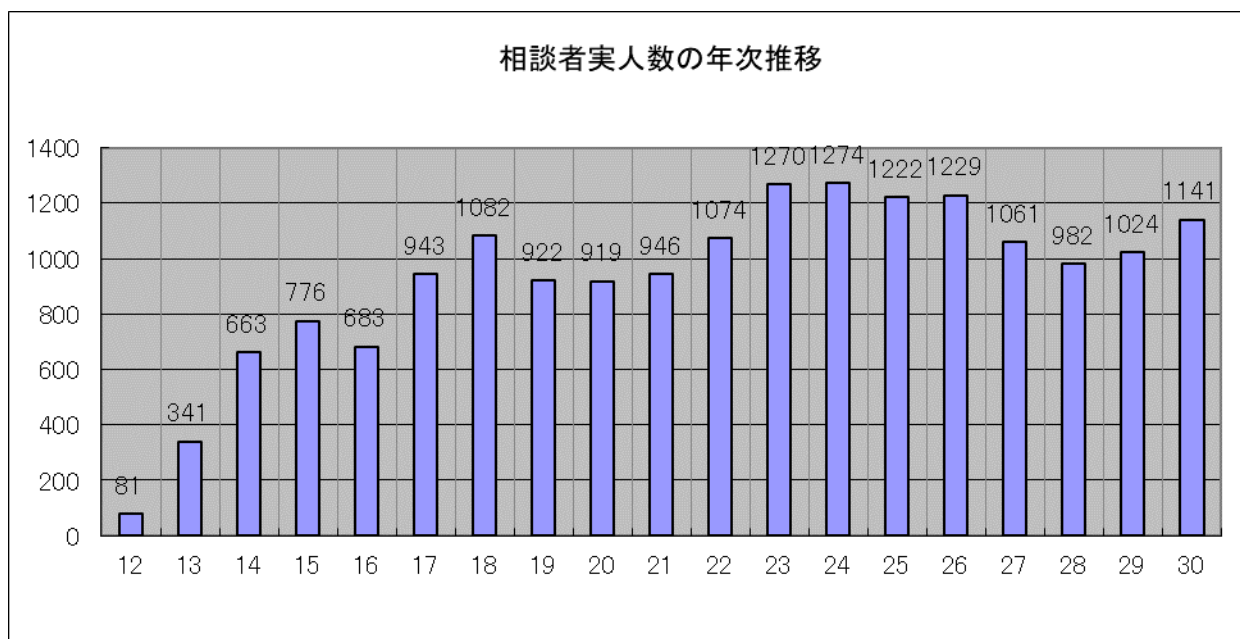
■事業説明：基幹相談支援センターとして、市における相談支援の中核的な役割を担うとともに、宗像市に居住する障がい者に対し、障がい福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■事業内容：○基幹相談支援センターの充実
 ○自立支援協議会の充実
 ○地域の相談支援体制の強化
 ○地域移行・地域定着支援の推進
 ○障害者虐待防止センターの充実
 ○成年後見制度の利用促進
 ○障害者団体の組織化と自立支援
 ○ピアサポート機能の充実・強化
 ○登録手話通訳者等派遣事業の充実
 ○障害者差別解消法の啓発に関する取り組み

■職員体制：○センター長 1 人
 ○相談員 3 人
 ○ピアカウンセラー 6 人

■開所日時：①月・火・水・木・金曜日（8 時 30 分～17 時）
 ※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日
 ②ピアカウンセリング（10 時～15 時）
 ※水・木・金曜日

■センター利用状況・相談件数：1,141 人



■相談実績件数①（区分別）

※平成 29 年度に相談項目内容を変更したため、平成 29 年度実績から記載

項目		平成 29 年度	平成 30 年度
1	訪問系サービスの利用に関すること	327	264
2	通所系サービスの利用に関すること	354	501
3	G H・入所系サービスの利用に関すること	341	382
4	移動や外出に関すること	108	77
5	就労に関すること	400	473
6	日常生活用具・補装具に関すること	71	35
7	地域移行支援・地域定着支援に関すること	6	2
8	児童発達支援・放課後等デイサービスの利用に関すること	111	161
9	計画相談支援に関すること	713	626
10	手話・代筆・点字等のコミュニケーションに関すること	42	160
11	医療的なケアが必要な支援に関すること	222	183
12	社会保障制度等に関すること	203	155
13	介護保険制度等に関すること	98	76
14	権利擁護・成年後見制度等に関すること	225	154
15	虐待に関すること	76	108
16	虐待予防等の支援に関すること	75	40
17	障害者差別に関すること	18	4
18	家族関係・対人関係に関すること	629	640
19	障がいや病状の理解に関すること	83	29

20	健康・医療に関すること	781	751
21	保育・教育に関すること	280	232
22	家計・経済的な生活困窮に関すること	273	123
23	金銭管理に関すること	215	221
24	社会参加・余暇活動に関すること	75	62
25	住まいに関すること	219	181
26	障害者団体・ボランティア・NPO 等に関すること	4	19
27	ピアカウンセリングに関すること	20	25
28	専門機関等の紹介に関すること	105	84
29	生活・福祉等の情報提供に関すること	457	373
30	その他必要な生活支援に関すること	1,085	973
計		7,616	7,114

■相談実績件数②（相談方法別）

※平成 29 年度から⑥担当国会議の項目を追加

項目／月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①来 所	1,211	1,556	1,693
②電 話	1,537	2,849	2,489
③文書（メール等）	73	77	69
④訪 問	892	867	571
⑤同 行	197	220	310
⑥担当国会議	—	482	468
⑦個別支援会議	835	314	284
⑧関係機関	1,712	1,251	1,230
計	6,457	7,616	7,114

■障がい種別件数①（障がい者）

※平成 29 年度から⑩難病の項目を追加

項目／月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①肢体不自由	669	572	415
②聴覚障がい	209	86	90
③言語障がい	17	5	1
④視覚障がい	186	157	98
⑤内部障がい	51	50	39
⑥発達障がい	435	368	470
⑦高次脳機能障がい	40	61	10
⑧知的障がい	1,397	1,423	1,771
⑨精神障がい	2,308	3,216	2,951
⑩難病	—	198	41
⑪重複障がい	432	268	143

⑫不 明	126	258	209
⑬な し	91	119	95
計	5,961	6,781	6,333

■障がい種別件数②（障がい児）

※平成 29 年度から⑩難病の項目を追加

項目／月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①肢体不自由	97	103	62
②聴覚障がい	0	0	0
③言語障がい	0	4	2
④視覚障がい	0	0	0
⑤内部障がい	13	4	0
⑥発達障がい	184	327	382
⑦高次脳機能障がい	0	0	1
⑧知的障がい	101	225	142
⑨精神障がい	2	11	46
⑩難病	—	10	10
⑪重複障がい	61	96	35
⑫不 明	34	41	91
⑬な し	4	14	10
計	441	496	781

（２）障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者が事業を通じた交流により、身近な相談相手としての周知を行うとともに、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

実施日	内容	参加人数	場所
5 月 20 日	世界にひとつだけのピザを作ろう	10	河東地区コミュニティ・センター
10 月 14 日	ハロウィンパーティーで盛り上げよう！	11	河東地区コミュニティ・センター
2 月 10 日	ふうせんバレー大会	12	宗像勤労者体育センター

②ピアサポーターだより「すまいる」発行事業

■事業説明：ピアサポーターの活動や障がい福祉サービス、市内の社会資源、ボランティア等の情報を当事者や市民、関係機関等に周知し、情報を共有することを目的に広報紙を発行。

■発行回数：年 3 回

■発行部数：710 部／回

- 配布先：各障がい者施設、当事者団体、関係機関等
- 実施内容：事業紹介、社会資源の情報、生活情報など

③パソコン勉強会

- 事業説明：当センターのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象にパソコンの勉強会を実施。
- 開催日時：第2・4火曜日（13:00～15:00）
- 開催場所：宗像市役所内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：21人

④手話勉強会

- 事業説明：当センターの聴覚障がいのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象に手話の勉強会を実施。
- 開催日時：第4木曜日（13:30～15:00）
- 開催場所：メイトム宗像内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：0人（※継続して参加者募集を実施したが登録者は0人）

(3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
障害者自立支援協議会	5月30日
生活部会	6月14日、6月20日、9月13日、9月19日、11月21日、1月21日
就労部会：部会事業、研修会への参加、協力	6月5日、3月12日
権利擁護部会	2月14日
ネットワーク会議（全体）	4月20日、6月21日、11月9日
ネットワーク会議（児童関係）	3月7日
事務局会議	11回実施
ピアサポート会議	月2回実施
福岡県集団指導	6月28日
相談支援従事者現任研修	9月5日、9月11日、9月12日
成年後見制度利用促進研修会	8月24日、11月20日
宗像市社会福祉協議会第1回法人後見運営委員会	11月13日
第1回福岡地区法人後見実施社協による意見交換会	11月26日
福祉サービス苦情解決従事者研修会	9月3日
福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	11月1日、11月13日
宗像市障害者虐待防止研修会	12月5日
福岡県障がい者虐待防止対応事例検討会	2月22日
精神障がい者地域支援企画検討会議	6月12日、9月19日、3月14日
宗像・遠賀地域精神障害者地域支援実務者会議	11月19日、12月10日、1月23日
福岡県精神障害者社会復帰施設協議会合同研修会	11月16日

宗像・遠賀地域在宅医療推進協議会	2月7日
第2回アルコール依存症に関する研修会	2月26日
心の健康づくり講演会「大人の発達障がいについて」	3月6日
宗像地域若者自立支援関係機関連携会議	12月6日
地域自立支援協議会担当会議	2月8日
福岡県発達障がい者支援地域協議会	3月12日
福岡県知的障がい者相談員研修会	7月14日、2月7日
福岡県身体障害者相談研修会	9月7日
幼児期のインクルーシブ教育システムの構築の重要性について	2月14日
宗像市議一期生議員勉強会	1月31日
障害者支援区分認定審査会	2月26日、3月26日
民生委員・児童委員協議会	10月11日、11月17日

(4) 宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	38	39	31

■内容（件数）

項目／月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①手続・相談	4	5	1
②医療・保健	38	47	2
③就職活動	0	1	47
④教育	0	0	0
⑤その他	11	2	1
計	53	55	51

■区分（件数）

項目／月	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①手話通訳等	48	34	41
②要約筆記等	5	21	10
計	53	55	51

(5) 宗像市障害者虐待防止センター事業

①宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成 24 年度から宗像市の委託事業として受託。障がい者虐待の早期発見と発生防止ならびに障がい者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障がい福祉サービス事業者への周知が主な役割。

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①通報受理	11 件	6 件	6 件

②事実確認実施	23 件	8 件	10 件
③虐待と判断	2 件	2 件	2 件
④相談・指導・助言	18 件	20 件	20 件
⑤実人数	13 人※	6 人	6 人

※平成 28 年度実人数は、前年度からの事実確認を行った人数を含む。

②家庭訪問等個別支援事業

■障がい者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障がい者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■家庭訪問件数：1 件

■人数：1 人

③宗像市障害者虐待防止研修会の実施

■事業説明：障がい者虐待の防止や早期発見、適切な支援につなげるため、市内の障がい福祉事業所を対象に、障がい者虐待防止及び権利擁護への理解を深める研修を実施した。

■実施日：平成 30 年 12 月 5 日

■場 所：メイトム宗像 202 会議室

■参加者：市内の障がい福祉事業所職員等 52 人

■内 容：「不適切ケアの見直しと組織体制のチェック～虐待事例の検証から～」

■講 師：社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 理事長 花田敏秀 氏（社会福祉士）

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■宗像市指定管理運営事業

（1）大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業（指定管理業務）

■事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け社会福祉協議会が運営している。

■運営体制：●館長（兼任）1 人 ●事務員 1 人

■大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一 般	中学生以下	島 外	計	対前年比較
平成30年度	2,202 人	282 人	109 人	179 人	2,772 人	71 人
平成29年度	2,284 人	243 人	25 人	149 人	2,701 人	1,018 人
平成28年度	1,301 人	218 人	44 人	120 人	1,683 人	

■利用施設別のべ利用者数

	1 階大広間	2 階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
平成30年度	2,721 人	33 人	34 人	1,943 人	4,731 人	-1 人
平成29年度	2,657 人	39 人	33 人	2,003 人	4,732 人	1,917 人
平成28年度	1,645 人	4 人	46 人	1,120 人	2,815 人	

■施設利用料金実績ならびに施設稼働日数

	稼動日数 (日)	1 階大広間 (円)	2 階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計	対前年比較
平成30年度	254 日	9,980 円	0 円	2,020 円	12,000 円	5,260 円
平成29年度	253 日	5,460 円	0 円	1,280 円	6,740 円	-50 円
平成28年度	171 日	6,790 円	0 円	0 円	6,790 円	

(2) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス：指定管理業務）

- 事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいづくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクレーションなどの活動を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	229 人	271 人	266 人
	対前年比較	42 人	-5 人

(3) 配食サービス（委託業務）

- 事業説明：「食」に課題のある高齢者等を対象に、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、見守りを行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	99 人	112 人	141 人
	対前年比較	13 人	29 人

(3) 大島福祉センター「ふれ愛センター」健康・福祉ミニまつりの開催（自主事業）

- 実施日：7月21日（土）

- 内 容：○健康ミニ講座：大島診療所 辻 隆宏 医師
内容「ケガ治療の最前線 2018

～そのやり方で本当に大丈夫？～

○血管年齢測定、骨密度測定、脳年齢測定、アロマオイルハンドマッサージほか

- 参加者：68 人

15 介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

- 事業説明：介護保険利用者の訪問介護計画に基づき、自立支援を目標とした介護サービスの提供を行う。（介護予防訪問介護事業含む）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
延べ利用者数	1,247 人	1,116 人	998 人
	対前年比較	-131 人	-118 人

(単位：人)

要介護度別延べ利用者数	訪問 A	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比 較
平成 30 年度	118	188	124	345	130	24	39	30	998	-118
平成 29 年度	84	178	278	324	151	56	31	14	1,116	-131
平成 28 年度	0	294	298	403	174	45	21	12	1,247	

「要介護」に占める要介護 1 と要介護 2 の割合	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	88.1%	82.5%	83.6%

(2) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成、管理、更新等を行い個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。（介護予防支援事業含む。単位：人）

要介護度別延べ利用者数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年比較
平成 30 年度	41	102	872	616	355	191	120	2,297	-86
平成 29 年度	107	171	890	608	282	180	145	2,383	341
平成 28 年度	174	272	986	735	253	188	116	2,724	

【介護給付】 延べ利用者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	2,278 人	2,105 人	2,154 人
	対前年比較	-173 人 (92.4%)	49 人 (102.3%)

【予防給付】 延べ利用者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	446 人	278 人	143 人
	対前年比較	-168 人 (62.3%)	-135 人 (51.4%)

(3) その他の事業

ホームヘルプステーション

①ホームヘルパー全員研修

■職員処遇改善加算取得のための必須要件として本所は毎月 1 回程度（大島支所は必要に応じて）、管理者から非常勤臨時ホームヘルパーまで全職員を対象として実務研修を実施した。

実施時期	内 容
4 月 18 日	■テーマ 社会福祉協議会について・倫理綱領と法令遵守について ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 本会職員
5 月 16 日	■テーマ 安全運転講習会 ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 外部講師 リスクサーチ福岡代表 後藤弥太郎さん
6 月 13 日	■テーマ 災害と防災について ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 本会職員
7 月 8 日	■テーマ 救命救急講習（本所・支所合同研修） ■場 所 宗像地区消防本部 ■講 師 宗像地区消防本部
8 月 21 日	■テーマ 感染症予防と熱中症予防について ■場 所 大島支所内 ■講 師 本会職員
	■テーマ 感染症予防と熱中症予防について

	■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 本会職員
9 月 11 日	■テーマ 個人情報とプライバシーについて・権利擁護事業について ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 本会職員
9 月 13 日	■テーマ 災害と防災について ■場 所 大島支所内 ■講 師 本会職員
10 月 17 日	■テーマ 障がい理解について ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 本会職員
10 月 23 日	■テーマ 障がい理解について ■場 所 大島支所内 ■講 師 本会職員
11 月 15 日	■テーマ 個人情報とプライバシーについて・権利擁護事業について ■場 所 大島支所内 ■講 師 本会職員
12 月 18 日	■テーマ 認知症の方への服薬支援について ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 外部講師 一般社団法人 宗像薬剤師会 馬場渉さん
1 月 15 日	■テーマ HIV/AIDS 出前講座（本会人権研修会） ■場 所 メイトム宗像 202 会議室 ■講 師 外部講師 国立病院機構九州医療センター
2 月 20 日	■テーマ 食中毒及び感染症の発生および蔓延の防止について ■場 所 大島支所内 ■講 師 本会職員
3 月 5 日	■テーマ 知っているようで知らない大人の紙おむつの勉強会 ■場 所 ホームヘルプステーション内 ■講 師 外部講師 大王製紙株式会社アテントチーフアドバイザー河津里美さん

②経営改善計画の策定と実践

3 年を期間として経営の改正を行う行動計画を作成し、具体的に検討・実践した。

③法令遵守に関する取り組み

■障害者総合支援法の規定による指定障害福祉サービス事業所の指定更新（居宅介護・重度訪問介護指定更新申請）

■介護保険法ならびに障害者総合支援法の規定による変更届（会長の異動にともなう変更届）

※介護予防・日常生活支援総合事業現行相当みなし指定事業所含む

居宅介護支援センター

①居宅介護支援係会議ならびに係内研修

■定期の係会議と事業所加算取得のための必須要件として、ケアプランを担当する職員と訪問調査を担当する職員を対象にあらかじめ福岡県から指定されたテーマを含む職員研修を実施した。

実施時期	内 容
4 月 24 日	■テーマ 平成 29 年度事業の総括と平成 30 年度目標について・他

	■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
5 月 29 日	■テーマ 非常・災害時職員行動計画について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
6 月 13 日	■テーマ 災害と職員行動計画について ■場 所 ホームヘルパーステーション内 ■講 師 本会職員
8 月 21 日	■テーマ 夏に流行する感染症予防対策・熱中症～理解と予防について～ ■場 所 ホームヘルパーステーション内 ■講 師 本会職員
9 月 25 日	■テーマ 居宅介護支援センターの業務について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
10 月 30 日	■テーマ 平成 31 年度事業計画について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
11 月 27 日	■テーマ 介護認定調査従事者研修報告について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
12 月 18 日	■テーマ 認知症の方への服薬支援について ■場 所 ホームヘルパーステーション内 ■講 師 外部講師 一般社団法人 宗像薬剤師会 馬場渉さん
1 月 15 日	■テーマ HIV/AIDS 出前講座（本会人権研修会） ■場 所 メイトム宗像 202 会議室 ■講 師 外部講師 国立病院機構九州医療センター
1 月 29 日	■テーマ 無期労働契約への転換について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員
2 月 13 日	■テーマ 交通安全研修（本会安全運転研修会） ■場 所 メイトム宗像 202 会議室 ■講 師 外部講師 リスクサーチ福岡代表 後藤弥太郎さん
3 月 26 日	■テーマ 平成 31 年度居宅介護支援系の職員体制について・他 ■場 所 居宅介護支援センター内 ■講 師 本会職員

②情報伝達会議

- 事業所加算取得のための必須要件として毎月 1 回程度、ケアプランを担当する全職員を対象に福岡県から指定されたテーマについてケース会議・研修を実施した。

③法令遵守に関する取り組み

- 介護保険法の規定による指定居宅介護支援事業の変更届（介護支援専門員ならびに会長の異動にともなう変更届）
- 法改正により事業所加算取得のための必須要件として新たに加えられた「他の法人が運営する指定居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施する」について、他の事業所と協議し、事例検討会、研修会を実施する会議「ケアマネゲッツ」を発足し、会議に参加。また「ケアマネゲッツ」主催による事例検討会・研修会に今年度は 2 回参加した。

16 指定障害サービス事業の適切な運営

(1) 居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がい者の介護、家事の支援や視覚障害者の外出支援を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	142 人	143 人	143 人
	対前年比較	1 人	0 人

17 市受託事業の適切な運営

(1) 訪問型サービス A 事業

■事業説明：市が必要と認めた高齢者世帯と単身高齢者に対し、日常生活上の支援・指導を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	12 人	84 人	118 人
	対前年比較	72 人	34 人

(2) 地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障害者の外出支援を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	34 人	37 人	37 人
	対前年比較	3 人	0 人

(3) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス）【再掲】

■事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいづくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクレーションなどの活動を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	229 人	271 人	266 人
	対前年比較	42 人	-5 人

(4) 要介護認定調査業務

■事業説明：市から委託を受けて要介護認定調査を行う。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
要介護認定調査件数	2,112 件	1,377 件	1,398 件
	対前年比較	-735 件	21 件

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での

自立支援を行う。

延べ利用者数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	277 人	236 人	242 人
	対前年比較	-41 人	6 人

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」 運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■事業説明：さまざまな障がいのある子ども達とその保護者を、通園の方法により療育を行い、支援していくことを目的として設置れた施設。実施主体は宗像市で社会福祉協議会が受託・運営している。

■事業内容：①保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
②作業療法士による機能訓練、感覚統合訓練や言語聴覚士によるコミュニケーション支援とともに、子どもに関する悩みをそれぞれの専門の先生方が聞き、相談に応じる。
③水泳の指導を専門の指導員が週一回行う。(金曜日)
④嘱託医による定期的な健診やカンファレンスにより子どもの発達を医学的な見地からみる。

■運営体制：①園長(兼任) 1 名
②児童発達支援管理責任者 1 名
③相談支援専門員 2 名
④専任指導員 2 名
⑤作業療法士 1 名
⑥言語聴覚士 1 名
⑦プール指導員 1 名
⑧臨時指導員 4 名
⑨託児スタッフ 5 名
⑩嘱託医 1 名

(2) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業実績

①年齢別男女別障害別園児状況(31 年 3 月末登録者統計)

年齢	男子	女子	障害区分								累計
			発達障害		知的障害	未診断	視覚障害	聴覚障害	重複障害	その他	
			ASD								
			知的有	知的無							
1 歳	0	0								0 人	
2 歳	5	3								8 人	
3 歳	16	4								20 人	
4 歳	27	5								32 人	
5 歳	50	5								55 人	

6 歳	47	20										67 人
計	145	37										182 人

②月別療育日数、実績人数

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1.療育日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244 日
2.実績延人数	30	318	284	336	289	308	320	385	291	346	329	257	3,493 人
3.今年度一日平均利用人数	1.5	15.1	13.5	16.0	12.5	17.1	14.5	18.3	15.3	18.2	17.3	12.9	172.2 人
4.前年度一日平均利用人数	7.14	11.7	12.7	14.9	13.0	16.6	14.2	18.6	16.4	16.7	17.8	16.4	14.6 人

③園児数の推移

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1.入園者数	0	8	9	4	6	3	9	4	5	7	8	0	63 人
2.退園者数	68	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3 人
3.今年度登録人数(月末者数)	122	130	139	143	149	151	158	162	167	174	182	182	
4.前年度登録人数	108	119	123	132	134	147	155	162	162	176	188	191	
5.述べ登録人数	122	130	139	143	149	152	161	165	170	177	185	185	

④兄弟児託児状況

□事業説明：保護者が、子どもとしっかりと向き合い療育していくため、また勉強会・保護者会などの参加できるように兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は、一回につき 500 円を徴収。

□運営体制：登録 6 名

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1.今年度託児延べ利用人数	15	29	16	29	38	23	16	30	21	38	17	13	285 人
2.前年度託児延べ利用人数	9	11	8	20	23	18	9	29	27	44	26	22	246 人

⑤送迎利用状況

項目／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1.今年度送迎延べ利用回数	2	32	17	27	17	23	25	31	21	26	20	17	258 回
2.前年度送迎延べ利用回数	8	12	26	24	22	25	15	19	18	17	14	17	217 回

(3) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」訓練等の状況

①言語聴覚士の関わり（週 5 回。1 名体制。個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1.今年度個別 (検査・訓練)	13	70	52	75	101	69	63	85	75	85	60	85	833人
2.前年度個別	33	45	40	49	56	55	40	51	47	51	42	51	550人
3.今年度集団 (ことば遊び)	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	6回

※6月、10月、2月の個人懇談は人数に含まない。集団は、集団プログラムにて指導を行った回数。

②作業療法士の関わり（週1回程度。個人懇談・関係機関との連携等）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1.今年度個別 (検査・訓練)	0	14	13	15	15	11	19	18	13	12	10	6	146人
2.前年度個別	7	12	12	9	20	15	17	20	16	13	14	19	174人

※6月、10月、2月の個人懇談は人数に含まない。作業療法士は、個別指導のみ実施。

③保育の個別

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1.今年度個別 保育実績	8	43	39	65	46	53	44	56	54	56	52	66	582人
2.前年度個別 保育実績	42	33	43	75	61	72	49	63	68	54	49	80	689人

④嘱託医の健診・ケースカンファレンス（年5回実施）

実施時期	参加者数	主な活動内容
6月27日	3人	内 容：ケースカンファレンス／健診
9月29日	4人	内 容：嘱託医健診
11月28日	3人	内 容：ケースカンファレンス
12月12日	4人	内 容：嘱託医健診
2月27日	3人	内 容：ケースカンファレンス

（４）ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に1・2回程度開催。

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1.実施回数	0	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	16回
2.延べ利用人数	0	8	4	6	9	12	6	8	16	11	6	8	94人

※兄弟児は前期・後期とも2名。

（５）その他の取り組み

①児童発達支援事業改正及び事業登録更新に伴ったのぞみ園療育支援事業の見直し

■実施内容

- 防犯及び防災に関する研修会の取組を行い、防犯及び防災に関するのぞみ園内の整備を行なった。
- 8月に利用者の利用状況や療育内容についての評価見直しを行い、クラス編成と職員配置等の見直しを行った。また、昨年同様に、園児数の推移や利用状況について検証し、発達支援室と療育事業の今後の在り方について検討した。
- 2月より、自己評価公表の為にアンケートを実施し、アンケート集計及び結果についてホームページへの掲載を行った。

②保育所、幼稚園、小学校への訪問等による支援の取組

■実施内容

4月から5月を接続支援の重点期間とし、入園や入学後の園や学校生活が円滑に行えるために、各園や学校との情報交換を実施した。その他、保護者からの訪問支援や情報交換に関する要望や、通っている園等の関係機関からの要望に応じて随時、各保育所及び幼稚園への訪問との情報交換を行った。

③職員の資質向上に向けた研修会参加等についての実施

■実施内容

- ・6月10日 りっぷる
- ・6月11日 新任職員研修会
- ・7月8日 救命講習会参加
- ・7月16日「多職種で学ぶペアレント・プログラム入門」研修会参加
- ・7月31日「見えない・見えにくい子どもの理解と援助」研修会参加
- ・10月6日「吃音とともに歩む」研修会参加
- ・12月7日「子どもの遊びを応援しよう ～遊びは子どもの自分育て～」
- ・2月16日「アセスメントから個別支援計画を作成してみよう」
- ・2月17日「遊びレシピ養成講座」
- ・3月16日 構音訓練研修会(事例検討)

④保護者向け勉強会の実施

5月15日 「ことばの勉強会」

講師：言語聴覚士 松延 孝代

参加人数：17名

5月23日 就学相談についての説明会

講師：教育政策課 2名

参加人数：27名

7月10日 「子どもの成長と遊び ～感覚統合の視点から～」

講師：作業療法士 渡邊 直美 先生

参加人数：15名

9月19日 「アロマとハーバリウム作り」

講師：藤野先生/岡住先生

参加人数：6名

12月6日 「サポートブックづくり」

講師：各スタッフ(4名)

参加人数：10名

1月16日 「コミュニケーションを育む関わりとソーシャルスキルについて」

講師：言語聴覚士 松延 孝代
参加人数： 14 名

事業報告書資料集

■社会福祉協議会ならびに本会の概況

1. 社会福祉協議会の位置付け

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、平成 27 年 10 月に第 3 次計画の見直しと次代に適応する社会福祉協議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた第 4 次地域福祉活動計画(計画年度：平成 27～36 年度。以下「第四次計画」という。)による。第四次計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉推進団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年	・東部児童館事業受託 ・老人・心身障害児・身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）
平成元年	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託 ・障害者生活支援事業受託

平成 13 年	・ ボランティアセンター事業受託 ・ 在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ
平成 14 年	・ 宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・ (新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 15 年 3 月 31 日)
平成 15 年	・ 玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年	・ 宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・ (新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 17 年 3 月 31 日) ・ 第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年	・ 社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年	・ 機能訓練 B 型 (いきいきふれあいサロン) 事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・ 障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年	・ 「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・ 「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・ 「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年	・ 地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・ 非常・災害時職員行動計画書 (平成 21 年度版) 作成 ・ 第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年	・ 第三次地域福祉活動計画書策定 ・ 第二次経営改善計画策定 ・ 市窓口ワンストップサービス化にともない障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年	・ 第二次福祉教育推進計画策定 ・ 東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年	・ 市保健福祉会館 (ゆうゆうぷらざ) の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・ 障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・ 宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・ 宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年	・ ライフサポート事業開始 ・ 認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年	・ 福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・ 宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結
平成 27 年	・ 第四次地域福祉活動計画書策定
平成 28 年	・ 第三次福祉教育推進計画書策定
平成 29 年	・ 認知症サポーター活動支援事業を受託 (オレンジカフェの展開等)
平成 30 年度	・ 宗像市社会福祉法人連絡会を設立 (事務局)

■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002（平成 13）年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態（疾患等）」や「背景因子（環境因子と個人因子）」との間で、相互作用を行うことを重視するのがICFの生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練（レクリエーション）、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない（参加しない）高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

限界集落

山間地や離島において過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、自治会活動や冠婚葬祭など地域的共同生活（活動）の維持が困難になった集落のこと。

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などをCD-Rやカセットテープに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「日の里いずみの会」「森林都市うぐいす」の3団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは20世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和63年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助、指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であっても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング（Fundraising）とは、民間非営利団体（NPO）が、活動のための資

金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉会」と呼ばれ、市内 13 コミュニティを活動範囲とする福祉会を「地区福祉会」、行政区を活動範囲とする福祉会を「小地域福祉会」という。